令和９年度

学校推薦型選抜学生募集要項

国立大学法人秋田大学
Akita University

目　　次

学校推薦型選抜への出願について …… 1
インターネット出願の流れ …… 2
秋田大学の理念と基本的な目標 …… 6
秋田大学および各学部のアドミッション・ポリシー
秋　田　大　学 …… 6
国 際 資 源 学 部 …… 7
教 育 文 化 学 部 …… 10
医　　学　　部 …… 14
総合環境理工学部 …… 16

◇◇◇　学校推薦型選抜Ⅰ　◇◇◇

1　募集人員（学校推薦型選抜Ⅰ） …… 24
2　推薦の要件 …… 24
3　選抜方法 …… 25
4　試験の日程 …… 26
5　試験場 …… 26
6　受験上の注意事項 …… 26
7　感染症に関する注意事項 …… 27
8　出願手続 …… 27
9　合格者の発表 …… 29
10　入学手続 …… 29
11　個人の成績等の開示 …… 29

◇◇◇　学校推薦型選抜Ⅱ　◇◇◇

1　募集人員（学校推薦型選抜Ⅱ） …… 31
2　推薦の要件 …… 31
3　選抜方法等
(1) 選抜方法および採点・評価の観点，基準等 …… 34
(2) 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目および注意事項 …… 36
(3) 大学入学共通テストおよび個別学力検査等の配点 …… 39
(4) 合格者の決定方法 …… 39
4　試験の日程 …… 40
5　試験場 …… 40
6　受験上の注意事項 …… 40
7　感染症に関する注意事項 …… 41
8　出願手続 …… 41
9　合格者の発表 …… 43
10　入学手続 …… 43
11　個人の成績等の開示 …… 43

◇◇◇　共通事項（学校推薦型選抜Ⅰ・Ⅱ）　◇◇◇

1　国際資源学部の入学志願者へ …… 46
2　教育文化学部の入学志願者へ …… 46
3　総合環境理工学部の入学志願者へ …… 46
4　教員免許等の取得を目指す入学志願者のみなさんへ …… 46
5　配慮を必要とする入学志願者の事前相談について …… 46
6　検定料免除について …… 48
7　入学料免除・授業料免除および入学料徴収猶予について …… 49
8　学生寮について …… 50
9　入学手続について …… 51
10　試験場の案内 …… 52

ダウンロードが必要な書類等

推薦書
推薦書記入上の注意
志願理由書
実技検査調書
スポーツ活動の調書（学校推薦型選抜Ⅰ教育文化学部のみ）
同意書（学校推薦型選抜Ⅱ医学部医学科地域枠のみ）

学校推薦型選抜への出願について

1　**国公立大学の学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す場合，課さない場合を含めて）への出願は，一つの大学・学部に限られています。**

ただし，一つの大学・学部の学校推薦型選抜募集単位（学科・課程・専攻・コース等）について，大学入学共通テストを課さない学校推薦型選抜で不合格となった場合は，同一の学科・課程・専攻・コース等の大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜に出願することができます。

したがって，本学の場合，教育文化学部の学校教育課程初等中等教育コースの学校推薦型選抜Ⅰで不合格になった場合に，同一の学校教育課程初等中等教育コースの学校推薦型選抜Ⅱに出願することができます。

2　学校推薦型選抜で不合格となった場合に備えて，本学または他の国公立大学・学部の一般選抜等（前期日程から一つ，中期日程から一つ，および後期日程から一つの合計三つの大学・学部）に出願しておくことは，差し支えありません。

なお，本学の一般選抜に出願する場合は，大学入学共通テストの受験を要する教科・科目などに学校推薦型選抜と違いがありますので，別途「令和９年度一般選抜学生募集要項」等で必ず確認してください。

3　本学の学校推薦型選抜実施学部・学科・課程等および日程

1）学校推薦型選抜を実施する学部・学科・課程等

〇学校推薦型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さないもの）

実施学部	学科・課程	コース
教育文化学部	学校教育課程	初等中等教育コース
総合環境理工学部	応用化学生物学科	生物学コース，有機・高分子化学コース，応用化学コース
	環境数物科学科	数理科学・地球環境学コース，機能デバイス物理コース
	社会システム工学科	モビリティコース，電気システムコース，社会基盤コース

〇学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課すもの）

実施学部	学科・課程	専攻・コース
国際資源学部	国際資源学科	資源政策コース，資源地球科学コース，資源開発環境コース
教育文化学部	学校教育課程	初等中等教育コース，特別支援教育コース，こども発達コース
	地域文化学科	
医学部	医学科	

2）学校推薦型選抜実施日程

区分	学校推薦型選抜Ⅰ	学校推薦型選抜Ⅱ
出願期間	令和８年11月２日（月） ～ 令和８年11月９日（月）	令和８年12月９日（水） ～ 令和８年12月15日（火）
試験日	令和８年11月21日（土）	令和９年１月21日（木）【医学部医学科】 令和９年１月22日（金）【国際資源学部，教育文化学部，医学部医学科】 （医学部医学科の一般枠は21日(木)のみ）
合格者発表	令和８年12月４日（金）	令和９年２月10日（水）
入学手続期間	令和８年12月10日（木） ～ 令和８年12月11日（金）	令和９年２月16日（火） ～ 令和９年２月17日（水）

入学志願者の個人情報保護について

本学では，提出された出願書類から志願者の個人情報を取得し，また，入学試験の実施により受験者の個人情報を取得しますが，これらの個人情報は，下記の目的で利用します。

【利用目的】

○　入学者選抜に関する業務（統計処理などの付随する業務を含む。）に利用します。

○　入学手続完了者にあっては，入学後の学籍管理，学習指導，学生支援関係業務および授業料徴収業務に利用します。

○　国公立大学の一般選抜における合格決定業務を円滑に行うために，学校推薦型選抜の合格および入学手続等に関する個人情報（氏名，性別，生年月日，高等学校等コードおよび大学入学共通テストの受験番号）を，大学入試センターおよび併願先の国公立大に通知します。

インターネット出願の流れ

秋田大学の学校推薦型選抜・総合型選抜・一般選抜の出願は、インターネット出願方式で行います。

出願完了までの流れは、以下のとおりです。
出願登録・検定料・必要書類等の詳細は必ず学生募集要項で確認して、不備のないように出願してください。

STEP 1 事前準備 → STEP 2 出願サイトにアクセス → STEP 3 マイページの登録 → STEP 4 出願内容の登録 → STEP 5 検定料の支払い → STEP 6 出願書類の印刷と郵送 → 出願完了 → STEP 7 受験票の印刷

STEP 1 事前準備

インターネットに接続されたパソコン、カラープリンターなどを用意してください。
必要書類※は、発行まで時間を要する場合があります。早めに準備を始め、出願前には必ず手元にあるようにしておいてください。

大学入学共通テストの成績請求情報の提供手続は、医学部保健学科総合型選抜Ⅱを除き、「Web方式」になります。大学入学共通テスト出願サイトのマイページにある「出願内容確認・訂正」から「申込番号」を確認し、控えておいてください。医学部保健学科総合型選抜Ⅱは、「チケット方式」になります。詳細は学生募集要項本文をご確認ください。

※必要書類…調査書、顔写真データなど
必要書類は選抜ごとに異なります。学生募集要項の本文を必ず確認してください。

STEP 2 インターネット出願サイトにアクセス

インターネット出願サイト ▶ **https://e-apply.jp/ds/akita-u/**

または、

大学ホームページ ▶ **https://www.akita-u.ac.jp/**

からアクセス

STEP 3 マイページの登録

画面の手順に従って、必要事項を入力してマイページ登録を行ってください。
なお、マイページの登録がお済みの方は、STEP4に進んでください。

①初めて登録する方は
マイページ登録 から
ログインしてください。

②メールアドレスの登録を行って
仮登録メールを送信＞ を
クリックしてください。

③ユーザー登録画面から
ログインページへ を
クリックしてください。

④登録したメールアドレスに
初期パスワードと
本登録用URLが届きます。
※@e-apply.jpのドメインからのメールを受信できるように設定してください。

⑤ログイン画面から
登録したメールアドレスと④で届いた『初期パスワード』にて
ログイン を
クリックしてください。

⑥初期パスワードの変更を
行ってください。

⑦表示された個人情報を入力して
次へ を
クリックしてください。

⑧個人情報を確認して
この内容で登録する を
クリックしてください。

⑨登録完了となります。
マイページへ を
クリックしてください。

⑩上記ページが表示されたら
マイページ登録は完了です。

※出願受付中の場合のみ、出願手続きを行う ボタンをクリックすると出願手続に進めます。
登録期間外の場合は、これより先に進めませんので ログアウト ボタンをクリックしてください。

STEP 4

出願内容の登録

画面の手順や留意事項を必ず確認して、画面に従って必要事項を入力してください。

①マイページログイン後の
出願手続きを行う ボタン
から登録画面へ

②入試選択と留意事項の確認

③志望学部･学科等の選択

④顔写真のアップロード
写真選択へ ボタンをクリックし
写真を選択します。

⑤個人情報（氏名･住所等）の
入力

⑥出願内容の確認及び登録
※志願票のテスト出力が出来ますので、誤りがないか必ず確認してください。
【Web方式の場合】大学入試センターへの連携情報の入力
※入力に必要な情報は大学入試センターの
「大学入学共通テスト出願システム」のマイページから確認してください。

⑦申込登録完了
引き続き支払う ボタンを
クリックし検定料のお支払い画面へ。

⑧検定料の支払い方法
●コンビニエンスストア
●ペイジー対応銀行ATM
●ネットバンキング ●クレジットカード

⑨出願に必要な書類PDF
（イメージ）
※検定料納入後に出力可能となります。

検定料の支払い方法で「コンビニエンスストア」または「ペイジー対応銀行ATM」を選択された方は、支払い方法の選択後に表示されるお支払いに必要な番号を下記メモ欄に控えたうえ、通知された「お支払い期限」内にコンビニエンスストアまたはペイジー対応銀行ATMにてお支払いください。

セブン-イレブンの場合

払込票番号 メモ（13桁）													

デイリーヤマザキ、セイコーマートの場合

オンライン決済 番号メモ（11桁）											

ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、ペイジー対応銀行ATMの場合

お客様番号 メモ（11桁）											

確認番号 メモ（6桁）						

収納機関番号 （5桁）	5	8	0	2	1

※収納機関番号は、ペイジーでお支払いの際に必要となります。

申込登録完了後に確認メールが送信されます。メールを受信制限している場合は、送信元（@e-apply.jp）からのメール受信を許可してください。　※確認メールが迷惑フォルダなどに振り分けられる場合がありますので、注意してください。

申込登録完了後は、登録内容の修正･変更ができませんので誤入力のないよう注意してください。ただし、検定料支払い前であれば正しい出願内容で再登録することで、実質的な修正が可能です。

※「検定料の支払い方法」でクレジットカードを選択した場合は、出願登録と同時に支払いが完了しますので注意してください。

STEP 5

検定料の支払い

1 クレジットカードでの支払い

出願内容の登録時に選択し、支払いができます。

【ご利用可能なクレジットカード】
VISA、Master、JCB、AMERICAN EXPRESS、MUFGカード、DCカード、UFJカード、NICOSカード

出願登録時に支払い完了

2 ネットバンキングでの支払い

出願内容の登録後、ご利用画面からそのまま各金融機関のページへ遷移しますので、画面の指示に従って操作し、お支払いください。

※決済する口座がネットバンキング契約されていることが必要です

Webで手続き完了

3 コンビニエンスストアでの支払い

出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、コンビニエンスストアでお支払いください。

●レジで支払い可能

セブン-イレブン
デイリーヤマザキ
セイコーマート

●店頭端末を利用して支払い可能

Loppi
LAWSON
MINI STOP
マルチコピー機
FamilyMart

4 ペイジー対応銀行ATMでの支払い

出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、ペイジー対応銀行ATMにて画面の指示に従って操作のうえお支払いください。

※利用可能な銀行は「支払い方法選択」画面で確認してください。

各コンビニ端末画面・ATMの画面表示に従って必要な情報を入力し、内容を確認してから検定料を支払ってください。

3 コンビニエンスストア

セブン-イレブン

店頭レジ
↓
レジで「インターネット代金支払い」と伝える
↓
「払込票番号（13桁）」を伝える
↓
レジで検定料を現金で支払う※
↓
領収書（レシート形式）を必ず受け取る

デイリーヤマザキ ヤマザキデイリーストアー

店頭レジ
↓
レジで「オンライン決済」と伝える
↓
「オンライン決済番号（11桁）」を伝える
↓
レジで検定料を現金で支払う※
↓
領収書（レシート形式）を必ず受け取る

ローソン ミニストップ

Loppi
↓
「各種番号をお持ちの方」を選択
↓
「お客様番号（11桁）」入力
↓
「マルチペイメントサービス」を選択
↓
「確認番号（6桁）」入力
↓
支払い内容確認
↓
発券された申込券（受付票）をレジへ持参し、検定料を現金で支払う※
申込券（受付票）発行後は30分以内にレジにて支払ってください。
↓
払込受領証または受領書（レシート形式）を必ず受け取る

ファミリーマート

マルチコピー機
↓
「代金支払い/チャージ（コンビニでお支払い Payment/Charge）」を選択
↓
「お客様番号（11桁）」入力
↓
「確認番号（6桁）」入力
↓
支払い内容確認
↓
払込受領証または受領書（レシート形式）を必ず受け取る

セイコーマート

店頭レジ
↓
レジで「インターネット代金支払い」と伝える
↓
「オンライン決済番号（11桁）」を伝える
↓
レジで検定料を現金で支払う※
↓
払込受領証または受領書（レシート形式）を必ず受け取る

4 銀行ATM

Pay-easy 利用ATM

ペイジー対応銀行ATM
↓
「税金・料金払い込み」などを選択
↓
収納機関番号「58021」を入力
↓
「お客様番号（11桁）」入力
↓
「確認番号（6桁）」入力
↓
支払い内容確認
↓
「現金」「キャッシュカード」を選択し支払う※
↓
ご利用明細書を必ず受け取る

※ゆうちょ銀行・銀行ATMを利用する場合、現金で10万円を超える場合はキャッシュカードで支払ってください。コンビニエンスストアを利用の場合は現金で30万円までの支払いとなります。

STEP 6

出願書類の印刷と郵送

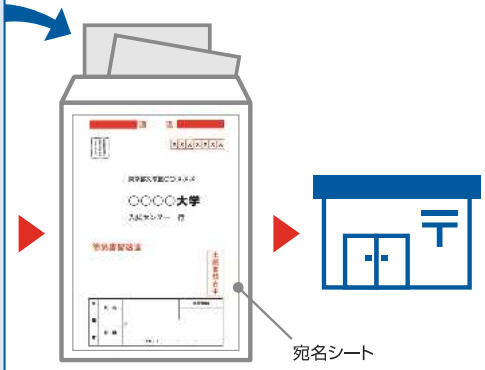
登録しただけでは出願は完了していませんので注意してください。

出願登録、検定料の支払後にダウンロードできる書類を**A4カラー印刷**し、その他の必要書類と併せて出願期間内に郵便局窓口から**「簡易書留速達郵便」**で郵送してください。※出願締切日17時必着。

出願書類

〈出願締切〉

推薦Ⅰ：令和８年１１月　９日（月）１７時必着
推薦Ⅱ：令和８年１２月１５日（火）１７時必着



出願書類提出用宛名シート
市販の角形2号封筒（24㎝×33.2㎝）に貼り付けて作成

出願書類の郵送先は宛名シートに自動で印字されます

■一般選抜の出願書類に関する注意点

前期日程の出願登録と後期日程の出願登録それぞれにつき1部ずつ必要です。出願に必要な書類は募集要項を参照してください。

※出願受理した検定料・必要書類は一切返却しません。

「入学志願票」の印刷方法

(1) マイページに表示された 志願票(印刷) のボタンをクリックしてください。

(2) お支払いが正常に完了すると 志願票(印刷) のボタンがクリックできるようになり入学志願票の出力ができます。

〈出願完了〉

出願時の注意点

出願はインターネット出願サイトでの登録完了後、検定料を支払い、必要書類を郵送して完了となります。登録が完了しても出願書類の提出期限に書類が届かなければ出願を受理できませんので注意してください。

インターネット出願は24時間可能です。ただし、出願登録、検定料の支払いは出願締切日13時まで（営業時間はコンビニエンスストアやATMなど、施設によって異なります）、必要書類の提出は出願締切日17時必着です。ゆとりを持った出願を心がけてください。

STEP 7

受験票の印刷

本学で出願を確認後、各入試毎に**出願期間受付終了後から試験前日までに一斉に受験票を配信します**。インターネット出願システムよりダウンロードできる状態にしますので、必ずカラー印刷し、試験当日持参してください（**※郵送はいたしません**）。

【印刷に関する注意事項】

1. 受験票のダウンロードが可能になりましたら、出願時に登録したアドレスへメールで通知します。
2. 医学部医学科の一般選抜において、2段階選抜を実施した場合の第1段階選抜不合格者には受験票が配信されません。
3. 受験票は必ずA4用紙に**片面カラー印刷**にしてください。
4. **一般選抜前期日程の出願時において、東京あるいは名古屋試験場での受験を希望した場合は、メールでの通知があり次第直ちに印刷し、受験票に記載されている試験場を確認してください。**出願状況によっては希望した試験場ではない試験場に変更になる場合があります。**受験票に記載されている試験場以外では受験することができません。**

秋田大学の理念と基本的な目標

基本理念

○国際的な水準の教育・研究を遂行します。
○地域の振興と地球規模の課題の解決に寄与します。
○国の内外で活躍する有為な人材を育成します。

基本的な目標

1．教育においては，質の国際通用性を高め，地域と世界の諸課題の解決に取り組む人材を育成する。
2．研究においては，地域の特性を活かした研究とグローバルな課題に対応する研究に取り組むことにより，イノベーションの創出を推進し，その成果を継続的に地域と世界に発信する。
3．社会連携においては，教育研究成果を地域社会に還元し，地域と協働した地域振興策の取組を推進するとともに，地域医療の中核的役割を担う。
4．国際化においては，資源産出国を中心とした諸外国の留学生・研究者との学術交流を推進するとともに，学生や教職員の海外留学・派遣を促進する。
5．大学経営においては，学長主導の下，学生及び教職員一人ひとりの活力を相乗的に高めた組織文化を浸透させ，透明性を確保した健全で効率的な大学経営を目指す。

『全学の入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）』

秋田大学では，21 世紀の日本ならびに国際社会において，指導的な役割を担うことができる人材の育成を目指しています。このため秋田大学は，学生が幅広い教養と深い専門性，そして高い倫理性に裏付けられた豊かな人間力を涵養できることを全学の教育目標としています。

このような目標のもと，次のような資質や意欲をもった人を，入学者として求めています。

1．学問への探求心を持ち，その発展に主体性と創造性を持って尽くしたい人
2．学士課程教育を受けるにふさわしい基礎的な知識・技能と，それらを活用して課題解決するために必要な思考力・判断力・表現力を持った人
3．地域社会や国際社会の諸課題を理解し，その解決に寄与したい人

『各学部・学科・課程等の入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）』

学部，学科，課程等の入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）は，下記の項目によって成り立っており，入学を希望する人に求める能力や資質を具体的に示しています。

●育てる人間像と求める人物像
※高等学校等で修得すべき具体的な内容
●入学者選抜の基本方針（どのような力を評価するか）
●入学者選抜における重点評価項目
※学力の３要素
・知識・技能
・思考力・判断力・表現力
・主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度（主体性・多様性・協働性）

【国際資源学部】

［国際資源学科］

◆育てる人間像

国際資源学部では，地球規模となった資源問題の解決を目指し，豊かな人間性と国際的視野を併せ持ち，新たな資源探査・開発技術や環境保全技術と資源・エネルギー戦略の発展・革新を担う人材を育成します。

●求める人物像

1．資源・エネルギー・環境問題への強い関心を持ち，その解決策をねばり強く，柔軟に思考・探求できる人
2．自然科学と人文社会科学の両面から資源問題を総合的に捉え，実務家，技術者，研究者として社会の発展に貢献したいという意欲を持ち，新たな課題へ立ち向かうチャレンジ精神のある人
3．国際的に通用する論理的思考力と判断力および外国語による表現力とコミュニケーション能力を身につけ，グローバルなフィールドで活躍しようとする人

《資源政策コース》

●求める人物像

1．資源・エネルギー・環境等の地球全体の課題に関心を持ち，持続可能な社会形成に貢献したいと思っている人
2．国際社会の様々な分野で活躍したいと考えている人
3．多様な価値観を持つ人々との交流に強い関心を持っている人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

国　　語－多様な価値観の理解に求められるコミュニケーション能力，表現力，読解力
英　　語－国際社会で活躍するために基礎となるコミュニケーション能力,表現力,読解力
数学・理科－自然科学に対する基礎学力と論理的思考能力
地 理 歴 史－世界の文化・歴史・産業に対する関心の高さと理解力
情　　報－情報科目の理解に基づく基本的な情報活用能力

●入学者選抜の基本方針

《学校推薦型選抜Ⅱ》

十分な基礎学力を持ち，資源問題に関わる国際社会の動向に対する興味と強い学習意欲を有し，かつ高等学校等において学業・課外活動に優れた成績を修め，豊かな人間性と創造性を備えた人を求めます。

そのため，大学入学共通テストで「知識・技能」,「思考力・判断力・表現力」を重点的に評価します。個別学力検査等で面接を課して「知識・技能」,「思考力・判断力・表現力」,「主体性･多様性･協働性」を重点的に評価します。提出書類は，面接で主に「知識・技能」,「思考力・判断力・表現力」,「主体性・多様性・協働性」を評価する際の参考資料とします。

●入学者選抜方法における重点評価項目

入　試　区　分	入学者選抜方法	知識・技能	思考力･判断力･表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度（主体性・多様性・協働性）
学校推薦型選抜Ⅱ	大学入学共通テスト	○	○	
	面接	○	○	○
	推薦書	○	○	○
	調査書			○

《資源地球科学コース》

●求める人物像

1．自然現象への好奇心が強く，地球の成り立ちを解明することや新たな資源を探求することに挑戦する意欲のある人
2．物事を深く洞察し，野外調査や実験にねばり強く取り組める人
3．将来，地下資源探査・開発に関わる技術者として，または資源地球科学分野の研究者として国際的に活躍したい人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

国　　語－文章を読む読解力，論理的な思考力，自分の考えを表現できる表現力
英　　語－英語の読解力と基礎的なコミュニケーション能力
数　　学－数学の基本的な概念の理解と計算力
地 理 歴 史－国内外で活躍するために必要な基本的な知識，教養
理　　科－物理，化学，生物，または地学分野の内容の理解と科学的探究心
情　　報－情報科目の理解に基づく基本的な情報活用能力

●入学者選抜の基本方針

《学校推薦型選抜Ⅱ》

十分な基礎学力を持ち，地球の成り立ち，地質や岩石などの地球科学に対する知的好奇心と強い学習意欲を有し，かつ高等学校等において学業・課外活動に優れた成績を修め，豊かな人間性と創造性を備えた人を求めます。

そのため，大学入学共通テストで「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」を重点的に評価します。個別学力検査等で面接を課して「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性･多様性･協働性」を重点的に評価します。提出書類は，面接で主に「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性・多様性・協働性」を評価する際の参考資料とします。

●入学者選抜方法における重点評価項目

入　試　区　分	入学者選抜方法	知識・技能	思考力･判断力･表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度（主体性・多様性・協働性）
学校推薦型選抜Ⅱ	大学入学共通テスト	○	○	
	面接	○	○	○
	推薦書	○	○	○
	調査書			○

《資源開発環境コース》

●求める人物像

１．資源の探査，資源・エネルギーの生産手法，リサイクルなどに強い興味を持つ人
２．多様な観点で物事を観察し，新たな価値の創造へ果敢に挑戦する意欲を持つ人
３．自然環境と調和した技術やシステムの開発を実現し，環境に配慮した資源開発と資源循環型社会の創出に貢献したい人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

国語・英語－国際社会で活躍するための基礎となるコミュニケーション能力，読解力，思考力，表現力
数　　学－「数学Ⅰ」，「数学Ⅱ」，「数学Ⅲ」，「数学Ａ」，「数学Ｂ」，「数学Ｃ」における内容の理解と数学的応用力，論理的な思考力
地歴・公民－地理歴史，公民における基礎知識と世界的な視点に基づく地理，歴史，文化・制度，政治・経済などを通した考察力
理　　科－物理，化学，生物または地学分野における内容の理解と自然科学を理解するための知識の活用と思考力
情　　報－情報科目の理解に基づく基本的な情報活用能力

●入学者選抜の基本方針

《学校推薦型選抜Ⅱ》

十分な基礎学力を持ち，資源開発，地球環境問題，エネルギーやリサイクルに対する興味と強い学習意欲を有し，かつ高等学校等において学業・課外活動に優れた成績を修め，豊かな人間性と創造性を備えた人を求めます。

そのため，大学入学共通テストで「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」を重点的に評価します。個別学力検査等として面接を課して「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性・多様性・協働性」を重点的に評価します。提出書類は，面接で主に「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性・多様性・協働性」を評価する際の参考資料とします。

●入学者選抜方法における重点評価項目

入　試　区　分	入学者選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度（主体性・多様性・協働性）
学校推薦型選抜Ⅱ	大学入学共通テスト	○	○	
	面接	○	○	○
	推薦書	○	○	○
	調査書			○

【教育文化学部】

◆育てる人間像

教育文化学部では人間存在をめぐる現代的課題を総合的に探究し，教員および新たな生活文化の創造を担う人材を育成します。

[学校教育課程]

●求める人物像

多様な教育的諸課題に対処できるように，豊かな人間性と専門的知識・技術，幅広い教養を基盤とする実践的な指導力を備えた教員を目指す強い意志のある人を求めています。

《初等中等教育コース》

●求める人物像

１．学校の教員として働こうとする強い意志のある人
２．児童・生徒に対する理解と教育に強い情熱を持つ人
３．小学校の全教科等に関する幅広い理解と一つ以上の教科（国語，社会，数学，理科，英語，家庭，音楽，美術，保健体育）における高い専門性によって，学校教育のさまざまな課題に積極的に取り組もうとする意欲のある人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

国　　語－国語を適切に表現し的確に理解する能力，伝え合う力，思考力・想像力と，言語文化に対する関心および国語を尊重する態度
英　　語－言語や文化に対する理解と，情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする英語コミュニケーション能力
数　　学－数学の基本的な概念や原理・法則についての体系的な理解と，それらを活用し，数学的論拠に基づいて判断する態度
地歴・公民－日本および世界の歴史と生活・文化の地域的特色についての理解と，国際社会で主体的に生き平和で民主的な国家・社会を形成する公民的資質
理　　科－自然の事物・現象に対する関心や探究心と，そのために必要な科学的に探究する能力と態度，および，自然の事物・現象についての理解と科学的な自然観
保健体育・芸術－実技実践能力を養うために求められる知識，技術力や表現力
情　　報－情報に関する科学的な見方・考え方の理解と，問題の発見解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する能力，情報社会に主体的に参加するための資質・能力

●入学者選抜の基本方針

《学校推薦型選抜Ⅰ》

高等学校等において学業・課外活動に優れた成績を修め，論理的思考能力と保健体育分野で優れた能力を有し，豊かな人間性と教員になる強い意志を持つ人を求めます。

そのため，個別学力検査等として小論文，実技検査（体育）および面接（口頭試問を含む）を課して，主として「理解力・論理的思考能力・文章表現力，運動技能，意欲，基礎的知識，および主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

なお，調査書および推薦書等は，実技検査（体育）および面接（口頭試問を含む）において活用します。

《学校推薦型選抜Ⅱ》

十分な基礎学力を持つとともに高等学校等において学業・課外活動に優れた成績を修め，論理的思考能力と教員になる強い意志を持つ人の内，国語，社会，数学，理科，英語，家庭，音楽，美術の分野で優れた能力を有する人を求めます。

そのため,大学入学共通テストで各教科内容に関連した「知識･技能」,「思考力･判断力･表現力」を評価し，個別学力検査等で「小論文および面接」または「実技検査（音楽か美術）および面接」を課すことによって，主として「教員に求められる基礎的知識とコミュニケーション能力，教育に対する情熱と意欲，技能，教科に関する興味・関心および主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

なお，調査書および推薦書等は，実技検査（音楽・美術）および面接において活用します。

●入学者選抜方法における重点評価項目

入　試　区　分	入学者選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度（主体性・多様性・協働性）	
			思考力・判断力	表現力	主体性	多様な人々との協働性
学校推薦型選抜Ⅰ	個別学力検査（実技）	○		○	○	
	小論文	○	○	○	○	
	面接（口頭試問を含む）	○	○		○	○
	実技検査関係資料				○	○
	志願理由書				○	○
	推薦書・調査書				○	○
学校推薦型選抜Ⅱ	大学入学共通テスト	○	○	○		
	個別学力検査（実技）	○		○	○	
	小論文	○	○	○	○	
	面接				○	○
	推薦書・調査書				○	○

《特別支援教育コース》

●求める人物像

１．特別支援学校や小学校・中学校等で働くことを強く希望する人

２．障害のある子どもに対する理解と教育に強い情熱を持つ人

３．特別支援教育のさまざまな教育課題に積極的に取り組む意欲のある人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

国　　語－国語を適切に表現し的確に理解する能力，伝え合う力，思考力・想像力と，言語文化に対する関心および国語を尊重する態度

英　　語－言語や文化に対する理解と，情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする英語コミュニケーション能力

数　　学－数学の基本的な概念や原理・法則についての体系的な理解と，それらを活用し，数学的論拠に基づいて判断する態度

地歴・公民－日本および世界の歴史と生活・文化の地域的特色についての理解と，国際社会で主体的に生き平和で民主的な国家・社会を形成する公民的資質

理　　科－自然の事物・現象に対する関心や探究心と，そのために必要な科学的に探究する能力と態度，および，自然の事物・現象についての理解と科学

的な自然観

情　　報－情報に関する科学的な見方・考え方の理解と，問題の発見解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する能力，情報社会に主体的に参加するための資質・能力

●入学者選抜の基本方針

《学校推薦型選抜Ⅱ》

高等学校等において学業・課外活動に優れた成績を修め，特別支援学校や小学校・中学校等での仕事に高い関心と意欲を持つとともに，論理的思考力，読解力，表現力に優れた人を求めます。

そのため，大学入学共通テストで各教科の内容に関連した「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」を評価し，個別学力検査等で小論文と面接を課して，主として「特別支援教育コースでの学習および障害のある子どもの教育に携わる仕事に高い関心・意欲と，論理的思考力，読解力，表現力，主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

なお，調査書および推薦書は，面接において活用します。

●入学者選抜方法における重点評価項目

入　試　区　分	入学者選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度（主体性・多様性・協働性）	
			思考力・判断力	表現力	主体性	多様な人々との協働性
学校推薦型選抜Ⅱ	大学入学共通テスト	○	○	○		
	小論文	○	○	○		
	面接	○	○	○	○	○
	推薦書・調査書				○	○

《こども発達コース》

●求める人物像

1．幼稚園・保育関連施設・小学校の仕事に携わることを強く希望する人
2．子どもに対する理解と教育・保育に強い情熱を持つ人
3．乳幼児期から児童期の子どもに関わるさまざまな教育・保育課題や，子どもへの発達支援に積極的に取り組もうとする意欲のある人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

国　　語－国語を適切に表現し的確に理解する能力，伝え合う力，思考力・想像力と，言語文化に対する関心および国語を尊重する態度

英　　語－言語や文化に対する理解と，情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする英語コミュニケーション能力

数　　学－数学の基本的な概念や原理・法則についての体系的な理解と，それらを活用し，数学的論拠に基づいて判断する態度

地歴・公民－日本および世界の歴史と生活・文化の地域的特色についての理解と，国際社会で主体的に生き平和で民主的な国家・社会を形成する公民的資質

理　　科－自然の事物・現象に対する関心や探究心と，そのために必要な科学的に探究する能力と態度，および，自然の事物・現象についての理解と科学的な自然観

情　　報－情報に関する科学的な見方・考え方の理解と，問題の発見解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する能力，情報社会に主体的に参加するための資質・能力

●入学者選抜の基本方針

《学校推薦型選抜Ⅱ》

高等学校等において学業・課外活動に優れた成績を修め，こども発達コースでの学習および子どもに関連した教育・保育施設での仕事に高い関心と意欲を持つとともに，論理的思考力，読解力，表現力に優れた人を求めます。

そのため，大学入学共通テストで各教科内容に関連した「知識・技能」，「思考力・判断力･表現力」を評価し，個別学力検査等で小論文と面接（口頭試問を含む）を課して，主として「こども発達コースでの学習および子どもに関連した教育・保育施設等での仕事に対する関心・意欲と，論理的思考力，読解力，表現力，主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

なお，調査書および推薦書は，面接において活用します。

●入学者選抜方法における重点評価項目

入　試　区　分	入学者選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度（主体性・多様性・協働性）	
			思考力・判断力	表現力	主体性	多様な人々との協働性
学校推薦型選抜Ⅱ	大学入学共通テスト	○	○	○		
	小論文	○	○	○		
	面接（口頭試問を含む）	○	○	○	○	○
	推薦書・調査書				○	○

［地域文化学科］

●求める人物像

1．地域社会の将来を展望し，行政・経済・生活・文化などの各方面において地域の活性化に貢献したいという強い情熱のある人

2．地域の抱えるさまざまな問題に対して，人文・社会科学や生活科学，自然科学，情報科学，心理学の総合的な成果を踏まえて分析し，これに実践的に応えていこうという意欲のある人

3．地域の特性・伝統を理解しながら，日本および世界の歴史・文化に対しても幅広い関心を有し，学業で得た知識・経験を積極的に活用し，地域文化の継承・発展に取り組もうという意欲のある人

4．地域情報を世界に向けて発信し，世界の各地域との交流を促進しようという意欲のある人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

国　　語－国語を適切に表現し的確に理解する能力，伝え合う力，思考力・想像力と，言語文化に対する関心および国語を尊重する態度

英　　語－言語や文化に対する理解と，情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする英語コミュニケーション能力

数　　学－数学の基本的な概念や原理・法則についての体系的な理解と，それらを活用し，数学的論拠に基づいて判断する態度

地歴・公民－日本および世界の歴史と生活・文化の地域的特色についての理解と，国際社会で主体的に生き平和で民主的な国家・社会を形成する公民的資質

理　　科－自然の事物・現象に対する関心や探究心と，そのために必要な科学的に探究する能力と態度，および，自然の事物・現象についての理解と科学的な自然観

情　　報－情報に関する科学的な見方・考え方にもとづいて，情報モラルに留意しながら問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する能力，情報社会に主体的に参画する態度

●入学者選抜の基本方針

《学校推薦型選抜Ⅱ》

豊かで個性的な人間性を持ち，高等学校等において学業・課外活動に優れた成績を修め，かつ論理的思考力や表現力を持つとともに地域貢献に強い関心を持ち，行動しているあるいはしようとする人を求めます。

そのため，大学入学共通テストで各教科内容に関連した「知識・技能」「思考力・判断力･表現力」を評価し，個別学力検査等で，小論文および面接を課して，主として「幅広い知識・技能に基づく論理的思考力・判断力と読解力や表現力を含む言語運用能力，コミュニケーション能力および地域貢献への意欲，主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

なお，調査書および推薦書は，面接において活用します。

●入学者選抜方法における重点評価項目

入　試　区　分	入学者選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度（主体性・多様性・協働性）	
			思考力・判断力	表現力	主体性	多様な人々との協働性
学校推薦型選抜Ⅱ	大学入学共通テスト	○	○	○		
	小論文	○	○	○		
	面接				○	○
	推薦書・調査書				○	○

【医学部】

◆育てる人間像

医学部では，豊かな教養に支えられた人間性と高い倫理観および学問の進歩に対応しうる柔軟な適応能力と課題探求・問題解決能力を養い，医学・健康科学に対する充分な理解のもとに，人々の健康と医療・福祉に貢献できる国際的視野を備えた使命感にあふれる人材を育成します。

●求める人物像

1．病気に悩む人々の痛みや苦しみを理解し真摯な態度で接することができる人

2．医療・保健・福祉の発展を目指して一生涯にわたり医学の研鑽にたゆみない努力を継続できる人

3．素直で協調性に富み，周囲の人々と円滑な人間関係を築けるコミュニケーション能力を持つ人

［医学科］

●求める人物像

１．地域医療への理解と共感を有し，将来の医師としての強い倫理観を持ち，住民の健康・福祉に寄与できる人

２．基礎および臨床医学や社会医学の研究に深い関心を持ち，国際性を備えた研究者としての資質を有する人

３．大学入学後の学業に支障ないだけの隔たりのない基礎学力を持ち，生命科学に対する関心を持つ将来性豊かな人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

国　　語－文化・社会の理解に求められる読解と表現に関わる幅広い基礎知識およびコミュニケーション能力

英　　語－国際社会に求められる読解と表現に関わる幅広い基礎知識およびコミュニケーション能力

数　　学－「数学Ⅰ」,「数学Ⅱ」,「数学Ⅲ」,「数学A」,「数学B」,「数学C」における内容の理解とそれらを活かせる数学的思考力

地歴・公民－将来，地域や国際社会で良識をもった人間として活躍するために必要な知識や教養

理　　科－「生物」,「化学」および「物理」の幅広い知識と科学的な探究心

情　　報－各高校の教育課程で学ぶ情報科目（例えば,「情報Ⅰ」など）の理解に基づく基本的な情報活用能力

そ　の　他－ストレスに負けない体力と精神力，周囲の人々との協調性

●入学者選抜の基本方針

《学校推薦型選抜Ⅱ》

高等学校等において学業その他に優れた成績を修め，感性豊かな人間性を持ち，他者に対するいたわりと共感する心を有するとともに，医療・医学への研究志向を有する知的好奇心に満ちた学生を求めます。

そのため，大学入学共通テストで「知識・技能」,「思考力・判断力・表現力」を評価し，個別学力検査等で，小論文と面接を課して「知識・技能」,「思考力・判断力・表現力」,「主体性･多様性･協働性」「将来性」を評価し，調査書を面接の参考資料として「主体性・多様性・協働性」,「将来性」を評価します。

東北地域枠による選抜については，卒業後に秋田大学医学部附属病院および秋田県内の公的医療機関に勤務する意欲，地域医療の充実と向上に貢献する気概と意欲を重視して選抜します。

秋田県地域枠による選抜については，秋田県修学資金受給の意思，卒業後に秋田県内の公的医療機関に勤務する意欲，地域医療の充実と向上に貢献する気概と意欲を重視して選抜します。

●入学者選抜方法における重点評価項目

入　試　区　分	入学者選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度（主体性・多様性・協働性）		将来性
				関心・意欲・態度	協働性	
学校推薦型選抜Ⅱ	大学入学共通テスト	○	○			
	小論文	○	○	○		
	面接		○	○	○	○
	推薦書			○	○	○
	調査書			○	○	○

【総合環境理工学部】

◆育てる人間像

総合環境理工学部では，理工学に関する高い専門性を身に付け，かつ，他者と共創して柔軟で総合的に課題を解決できる人，また，自然環境や環境技術について正しい知識を身に付け，高い倫理観を持ち，科学技術による環境問題の解決に貢献できる人を育成します。世界や地域で活躍できるこのような人材を輩出するために，次のような能力と意欲をもつ人を入学者として求めます。

●求める人物像

１．科学技術を学ぶために必要な基礎学力を身に付けた人
２．グリーン社会の実現に興味があり，積極的に自己学習のできる人
３．研究者や技術者として世界や地域の発展に貢献する意欲を持つ人

[応用化学生物学科]

●求める人物像

さまざまな社会の課題の解決に向けて化学と生物学を総合した科学技術を柔軟に活用できる人材を養成するために，次のような人を入学者として求めます。

１．化学と生物学のいずれかまたは両方に興味を持つ人
２．化学と生物学を基盤とした科学技術を修得し，人の健康や持続可能な社会の実現に関わる課題の解決に取り組みたい人
３．研究者や技術者として世界や地域の発展に貢献する意欲を持つ人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容（入学者選抜試験の範囲とは異なります）

数　　学－各高校の教育課程で学ぶ数学科目（例えば「数学Ⅰ」,「数学Ⅱ」,「数学Ⅲ」,「数学A」,「数学B」,「数学C」など）の理解に基づく数学的思考力
理　　科－各高校の教育課程で学ぶ理科科目（例えば「物理基礎・物理」,「化学基礎・化学」,「生物基礎・生物」など）の理解に基づく科学的思考力
国語･英語･情報－国際社会で活躍する人材の素養としてのコミュニケーション能力，表現力，読解力，思考力，情報通信技術を使う能力，論理的な構成能力
そ　の　他－教養のある豊かな人間性をはぐくむために必要な，地理歴史，公民などの素養と社会事象に対する関心や探究心

●入学者選抜の基本方針

《学校推薦型選抜Ⅰ（女子枠）》

人の健康や持続可能な社会を実現するには，科学技術を多様な視点から見つめ，柔軟に活用し取り組む必要があります。応用化学生物学科では，十分な基礎学力を持つと共に，高等学校等において優れた学業成績を修め，①化学，生物学に対する強い勉学意欲，②持続可能な社会の実現への強い貢献意欲，③地域や世界の発展に対する強い関心，を持っている女性を求めます。

そのため，面接（理科（物理基礎，化学基礎，生物基礎のうちから２科目を選択）の基礎学力に関する試問を含む）を行い「知識・技能」,「思考力・判断力・表現力」,「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

なお，面接の際には，提出書類を参考資料とします。

●入学者選抜方法における重点評価項目

入　試　区　分	入学者選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度（主体性・多様性・協働性）
学校推薦型選抜Ⅰ（女子枠）	面接（口頭試問を含む）	○	○	○
	志願理由書		○	○
	推薦書・調査書			○

[環境数物科学科]

●求める人物像

数学, 理論物理学, 地球科学, または, 先端電子機器や機能材料の知識を学び, 加えて, 高度なデータ解析・ＡＩ技術を習得し，地球環境の課題解決やグリーン社会の実現を志す人材を養成するために，次のような人を入学者として求めます。

１．数学，物理学，地学のいずれかに興味を持つ人

２．数理科学の知識を駆使して科学の真理を明らかにするとともに地球環境などの諸課題に取り組む人や物理学を活用した新テクノロジーや新機能素材の開発によって世界と地域のイノベーションを目指す人

３．研究者や技術者として世界や地域の発展に貢献する意欲を持つ人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容（入学者選抜試験の範囲とは異なります）

数　　学－各高校の教育課程で学ぶ数学科目（例えば「数学Ⅰ」,「数学Ⅱ」,「数学Ⅲ」,「数学Ａ」,「数学Ｂ」,「数学Ｃ」など）の理解に基づく数学的思考力

理　　科－各高校の教育課程で学ぶ理科科目（例えば「物理基礎・物理」,「化学基礎・化学」,「生物基礎・生物」など）の理解に基づく科学的思考力

国語･英語･情報－国際社会で活躍する人材の素養としてのコミュニケーション能力，表現力，読解力，思考力，情報通信技術を使う能力，論理的な構成能力

そ　の　他－教養のある豊かな人間性をはぐくむために必要な，地理歴史，公民などの素養と社会事象に対する関心や探究心

《数理科学・地球環境学コース》

●求める人物像

１．数学，物理学，計算機科学，地球科学に興味を持ち深く学んでみたい人

２．論理的かつ客観的な視点で粘り強く考えることが好きな人

３．自然の原理や仕組みについて考えたり話したりすることを楽しく感じる人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容（入学者選抜試験の範囲とは異なります）

数　　学－各高校の教育課程で学ぶ数学科目（例えば「数学Ⅰ」,「数学Ⅱ」,「数学Ⅲ」,「数学Ａ」,「数学Ｂ」,「数学Ｃ」など）の理解に基づく数学的思考力

理　　科－各高校の教育課程で学ぶ理科科目（例えば「物理基礎・物理」,「化学基礎・化学」,「生物基礎・生物」など）の理解に基づく科学的思考力

国語･英語･情報－国際社会で活躍する人材の素養としてのコミュニケーション能力，表現力，読解力，思考力，情報通信技術を使う能力，論理的な構成能力

そ　の　他－教養のある豊かな人間性をはぐくむために必要な，地理歴史，公民などの素養と社会事象に対する関心や探究心

●入学者選抜の基本方針

《学校推薦型選抜Ⅰ（女子枠)》

①多様なものの見方・考え方，②数学，物理学，計算機科学，地球科学での幅広い学習・知識欲，③環境問題の解決，地域や世界の発展への強い関心，を持っている女性を求めます。面接（数学［数学Ⅰ，数学Ⅱの全項目と数学Aは「図形の性質」および「場合の数と確率」，数学Bは「数列」を出題範囲とする］の基礎学力に関する試問を含む）を行い「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

なお，提出書類を面接の参考資料とします。

●入学者選抜方法における重点評価項目

入　試　区　分	入学者選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度（主体性・多様性・協働性）
学校推薦型選抜Ⅰ（女子枠）	面接（口頭試問を含む）	○	○	○
	志願理由書		○	○
	推薦書・調査書			○

《機能デバイス物理コース》

●求める人物像

1．数学や物理や化学が好きで，探求心が旺盛な人

2．発展する科学技術の基礎となる磁性材料，電子・光学材料，半導体材料，センサー材料，環境・新エネルギー材料に興味がある人

3．環境に調和した創意や工夫にあふれる光・電子デバイス，人にやさしく知的な情報通信機器などに興味のある人

4．最先端の機能性材料・エレクトロニクス分野において，創造性を発揮して国際的に活躍する技術者や研究者を目指す意欲のある人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容（入学者選抜試験の範囲とは異なります）

数　　学－各高校の教育課程で学ぶ数学科目（例えば「数学Ⅰ」,「数学Ⅱ」,「数学Ⅲ」,「数学A」，「数学B」，「数学C」など）の理解に基づく数学的思考力

理　　科－各高校の教育課程で学ぶ理科科目（例えば「物理基礎・物理」，「化学基礎・化学」，「生物基礎・生物」など）の理解に基づく科学的思考力

国語･英語･情報－国際社会で活躍する人材の素養としてのコミュニケーション能力，表現力，読解力，思考力，情報通信技術を使う能力，論理的な構成能力

そ　の　他－教養のある豊かな人間性をはぐくむために必要な，地理歴史，公民などの素養と社会事象に対する関心や探究心

●入学者選抜の基本方針

《学校推薦型選抜Ⅰ（女子枠)》

①多様なものの見方･考え方，②機能性材料･エレクトロニクス分野での幅広い学習・知識欲，③環境問題の解決，地域や世界の発展への強い関心，を持っている女性を求めます。

そのため,面接（数学［数学Ⅰ,数学Ⅱの全項目と数学Aは「図形の性質」および「場合の数と確率」，数学Bは「数列」を出題範囲とする］，理科（物理基礎，化学基礎のうちから１科目を選択）の基礎学力に関する試問を含む）を行い「知識･技能」，「思考力･判断力・表現力」，「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

なお，提出書類を面接の参考資料とします。

●入学者選抜方法における重点評価項目

入　試　区　分	入学者選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度（主体性・多様性・協働性）
学校推薦型選抜Ⅰ（女子枠）	面接（口頭試問を含む）	○	○	○
	志願理由書		○	○
	推薦書・調査書			○

［社会システム工学科］

●求める人物像

持続可能な社会の実現に寄与できるモビリティ，電気システム，または社会基盤に関する高い専門性とそれを拡充する学際知識を身に付けた人材を養成するために，次のような人を入学者として求めます。

1．数学，物理学，化学のいずれかに興味を持つ人
2．社会の持続的発展の必要性を理解し，その実現に向けた創造的な技術開発に挑戦したい人
3．研究者や技術者として世界や地域の発展に貢献する意欲を持つ人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容（入学者選抜試験の範囲とは異なります）

数　　学－各高校の教育課程で学ぶ数学科目（例えば「数学Ⅰ」,「数学Ⅱ」,「数学Ⅲ」,「数学A」,「数学B」,「数学C」など）の理解に基づく数学的思考力
理　　科－各高校の教育課程で学ぶ理科科目（例えば「物理基礎・物理」,「化学基礎・化学」,「生物基礎・生物」など）の理解に基づく科学的思考力
国語･英語･情報－国際社会で活躍する人材の素養としてのコミュニケーション能力，表現力，読解力，思考力，情報通信技術を使う能力，論理的な構成能力
そ　の　他－教養のある豊かな人間性をはぐくむために必要な，地理歴史，公民などの素養と社会事象に対する関心や探究心

《モビリティコース》

●求める人物像

1．数学や物理などの自然科学の知識をベースとして工学の基礎学力を高めたい人
2．力学，制御および設計を学び，ものづくりによりエンジニアの素養を得たい人
3．輸送機械の電動化や環境にやさしい機械および再生可能エネルギー開発の分野に興味を持ち，深く学びたい人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容（入学者選抜試験の範囲とは異なります）

数　　学－各高校の教育課程で学ぶ数学科目（例えば「数学Ⅰ」,「数学Ⅱ」,「数学Ⅲ」,「数学A」,「数学B」,「数学C」など）の理解に基づく数学的思考力
理　　科－各高校の教育課程で学ぶ理科科目（例えば「物理基礎・物理」,「化学基礎・化学」,「生物基礎・生物」など）の理解に基づく科学的思考力
国語･英語･情報－国際社会で活躍する人材の素養としてのコミュニケーション能力，表現力，読解力，思考力，情報通信技術を使う能力，論理的な構成能力
そ　の　他－教養のある豊かな人間性をはぐくむために必要な，地理歴史，公民などの素養と社会事象に対する関心や探究心

●入学者選抜の基本方針

《学校推薦型選抜Ⅰ（女子枠)》

持続可能な社会を実現するには,様々な視点から課題に取り組まなければなりません。そこで，社会システム工学科モビリティコースでは，十分な基礎学力を持つと共に，高等学校等において優れた学業成績を修め，①グリーン社会の実現への強い貢献意欲，②機械工学・材料工学に対する強い勉学意欲，③世界や地域の発展に貢献するための将来展望，を持っている女性を求めます。

そのため,面接（数学［数学Ⅰ,数学Ⅱの全項目と数学Aは「図形の性質」および「場合の数と確率」，数学Bは「数列」を出題範囲とする］，理科（物理基礎）の基礎学力に関する試問を含む）を行い「知識・技能」,「思考力・判断力・表現力」,「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

なお，面接の際には，提出書類を参考資料とします。

●入学者選抜方法における重点評価項目

入　試　区　分	入学者選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度（主体性・多様性・協働性）
学校推薦型選抜Ⅰ（女子枠）	面接（口頭試問を含む）	○	○	○
	志願理由書		○	○
	推薦書・調査書			○

《電気システムコース》

●求める人物像

1．数学や物理が好きで，ものやシステムの原理や仕組みを論理的に思考・理解しようとする人

2．脱炭素社会の実現に必要な輸送機の電動化や，再生可能エネルギーを積極的に導入したエネルギーシステムなど，環境と調和した社会システムの構築に寄与できる技術に興味のある人

3．創造性を発揮して国際的に活躍する最先端の電気システム分野の技術者や研究者を目指す意欲のある人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容（入学者選抜試験の範囲とは異なります）

数　　学－各高校の教育課程で学ぶ数学科目(例えば「数学Ⅰ」,「数学Ⅱ」,「数学Ⅲ」,「数学A」,「数学B」,「数学C」など）の理解に基づく数学的思考力

理　　科－各高校の教育課程で学ぶ理科科目（例えば「物理基礎・物理」,「化学基礎・化学」,「生物基礎・生物」など）の理解に基づく科学的思考力

国語･英語･情報－国際社会で活躍する人材の素養としてのコミュニケーション能力，表現力，読解力，思考力，情報通信技術を使う能力，論理的な構成能力

そ　の　他－教養のある豊かな人間性をはぐくむために必要な，地理歴史，公民などの素養と社会事象に対する関心や探究心

●入学者選抜の基本方針

《学校推薦型選抜Ⅰ（女子枠)》

持続可能な社会を実現するには,様々な視点から課題に取り組まなければなりません。そこで，社会システム工学科電気システムコースでは，十分な基礎学力を持つと共に，高等学校等において優れた学業成績を修め，①グリーン社会の実現への強い貢献意欲，②電気システム工学に対する強い勉学意欲，③世界や地域の発展に貢献するための将来

展望，を持っている女性を求めます。

そのため,面接（数学［数学Ⅰ,数学Ⅱの全項目と数学Aは「図形の性質」および「場合の数と確率」，数学Bは「数列」を出題範囲とする］，理科（物理基礎）の基礎学力に関する試問を含む）を行い「知識・技能」,「思考力・判断力・表現力」,「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

なお，面接の際には，提出書類を参考資料とします。

●入学者選抜方法における重点評価項目

入　試　区　分	入学者選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度（主体性・多様性・協働性）
学校推薦型選抜Ⅰ（女子枠）	面接（口頭試問を含む）	○	○	○
	志願理由書		○	○
	推薦書・調査書			○

《社会基盤コース》

●求める人物像

1．数学や物理などの自然科学の知識を社会基盤の整備と維持管理，ならびに発展に活かしたい人

2．すべての人が安心して生活できる社会基盤をつくるには，どうすればよいのかに興味がある人

3．自然環境と人間環境が調和した社会基盤の整備と発展に役立ちたい人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容（入学者選抜試験の範囲とは異なります）

数　　学－各高校の教育課程で学ぶ数学科目（例えば「数学Ⅰ」,「数学Ⅱ」,「数学Ⅲ」,「数学A」,「数学B」,「数学C」など）の理解に基づく数学的思考力

理　　科－各高校の教育課程で学ぶ理科科目（例えば「物理基礎・物理」,「化学基礎・化学」,「生物基礎・生物」など）の理解に基づく科学的思考力

国語･英語･情報－国際社会で活躍する人材の素養としてのコミュニケーション能力，表現力，読解力，思考力，情報通信技術を使う能力，論理的な構成能力

そ　の　他－教養のある豊かな人間性をはぐくむために必要な，地理歴史，公民などの素養と社会事象に対する関心や探究心

●入学者選抜の基本方針

《学校推薦型選抜Ⅰ（女子枠）》

持続可能な社会を実現するには,様々な視点から課題に取り組まなければなりません。そこで，社会システム工学科社会基盤コースでは，十分な基礎学力を持つと共に，高等学校等において優れた学業成績を修め，①グリーン社会の実現への強い貢献意欲，②社会基盤工学に対する強い勉学意欲，③世界や地域の発展に貢献するための将来展望，を持っている女性を求めます。

そのため,面接（数学［数学Ⅰ,数学Ⅱの全項目と数学Aは「図形の性質」および「場合の数と確率」，数学Bは「数列」を出題範囲とする］，理科（物理基礎）の基礎学力に関する試問を含む）を行い「知識・技能」,「思考力・判断力・表現力」,「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

なお，面接の際には，提出書類を参考資料とします。

●入学者選抜方法における重点評価項目

入　試　区　分	入学者選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度（主体性・多様性・協働性）
学校推薦型選抜Ⅰ（女子枠）	面接（口頭試問を含む）	○	○	○
	志願理由書		○	○
	推薦書・調査書			○

学 校 推 薦 型 選 抜 Ⅰ

（大学入学共通テストを課さない学校推薦型選抜）

1　募集人員（学校推薦型選抜Ⅰ）

学　　部	課　程・学　科	コ　ー　ス	募集人員
教育文化学部	学校教育課程	初等中等教育コース	4人
総合環境理工学部	応用化学生物学科	生物学コース	3人
		有機・高分子化学コース	
		応用化学コース	
	環境数物科学科	数理科学・地球環境学コース	3人
		機能デバイス物理コース	3人
	社会システム工学科	モビリティコース	2人
		電気システムコース	2人
		社会基盤コース	2人
合　　計			19人

2　推薦の要件

教育文化学部

課程・学科等		推　薦　の　要　件
学校教育課程	初等中等教育コース	次の(1)から(4)の要件すべてに該当する者 (1)　次のいずれかに該当する者 ①　高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）もしくは中等教育学校を卒業した者および令和９年３月卒業見込みの者 ②　文部科学大臣が高等学校の課程と同等または相当する課程を有するものとして認定または指定した在外教育施設の当該課程を修了した者および令和９年３月修了見込みの者 (2)　教員を志望し，学業成績・人物ともに優れ，出身学校長（高等学校長等）が責任を持って推薦でき，合格した場合，入学を確約できる者 (3)　調査書の保健体育の学習成績の状況が4.0以上の者 (4)　本学他学部および他の国公立大学の学校推薦型選抜に出願していない者

総合環境理工学部

課程・学科等		推　薦　の　要　件
応用化学生物学科	生物学コース 有機・高分子化学コース 応用化学コース	《女子枠》 次の(1)から(4)の要件すべてに該当する者。これに加え，戸籍上の性別が「女性」であることを出願資格とする。 (1)　次のいずれかに該当する者 ①　高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）もしくは中等教育学校を卒業した者および令和９年３月卒業見込みの者 ②　文部科学大臣が高等学校の課程と同等または相当する課程を有するものとして認定または指定した在外教育施設の当該課程を修了した者および令和９年３月修了見込みの者 (2)　学業成績および人物ともに優れ，出身学校長（高等学校長等）が責任を持って推薦でき，合格した場合，入学を確約できる者 (3)　調査書の学習成績概評がＢ段階以上（全体の学習成績の状況が3.5以上）で，なおかつ，数学，理科および英語の学習成績の状況が3.5以上の者 (4)　本学他学部および他の国公立大学の学校推薦型選抜に出願していない者
環境数物科学科	数理科学・地球環境学コース	
	機能デバイス物理コース	
社会システム工学科	モビリティコース	
	電気システムコース	
	社会基盤コース	

3　選抜方法

(1)　実施教科等および採点・評価の観点，基準等

教育文化学部

課程・学科	コース・枠	実施教科等		配点	受験を要する教科等
		教科等	採点・評価の観点，基準等		
学校教育課程	初等中等教育コース	小論文	英語の和訳を含む。英文をもとにした設問に論述させ，理解力，論理的思考能力，文章表現能力をみます。	200点	小論文，実技検査（体育）および面接（口頭試問を含む）
		実技検査	運動能力，技術力を中心に採点，評価します。（下記 (2) 参照）	200点	
		面接	教員になる意欲，スポーツや保健体育について学ぶ意欲を評価します。口頭試問は国語，社会，保健体育の教養レベルの基礎学力について行い，評価します。	100点	

総合環境理工学部

課程・学科	コース・枠	実施教科等		配点	受験を要する教科等
		教科等	採点・評価の観点，基準等		
応用化学生物学科	生物学コース 有機・高分子化学コース 応用化学コース	面接	理科（物理基礎，化学基礎，生物基礎のうちから２科目を選択）の基礎学力に関する試問を含む面接を行い，「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価し，選抜します。	100点	面接（試問を含む）
環境数物科学科	数理科学・地球環境学コース	面接	数学＊の基礎学力に関する試問を含む面接を行い，「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価し，選抜します。	100点	面接（試問を含む）
	機能デバイス物理コース	面接	数学＊と理科（物理基礎，化学基礎のうちから１科目を選択）の基礎学力に関する試問を含む面接を行い，「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価し，選抜します。	100点	面接（試問を含む）
社会システム工学科	モビリティコース	面接	数学＊と理科（物理基礎）の基礎学力に関する試問を含む面接を行い，「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価し，選抜します。	100点	面接（試問を含む）
	電気システムコース	面接	数学＊と理科（物理基礎）の基礎学力に関する試問を含む面接を行い，「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価し，選抜します。	100点	面接（試問を含む）
	社会基盤コース	面接	数学＊と理科（物理基礎）の基礎学力に関する試問を含む面接を行い，「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価し，選抜します。	100点	面接（試問を含む）

＊数学の出題範囲は，数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ａ，数学Ｂとします。数学Ⅰ，数学Ⅱの出題範囲は，高等学校学習指導要領に記載されている全項目とします。ただし，数学Ａは「図形の性質」および「場合の数と確率」，数学Ｂは「数列」を出題範囲とします。

(2)　実技検査の内容

教育文化学部　　学校教育課程　　初等中等教育コース

【体育】

次の運動種目①から⑥のうちから１種目を選択して受験してください。

運動種目　①陸上競技（競走，跳躍，または投てき）　②バレーボール　③サッカー　④卓球　⑤柔道　⑥ダンス

注 1）①～④および⑥の運動種目を選択する者は，体育館用シューズを持参してください。
④卓球を選択する者は，ラケットを持参してください。
⑤柔道を選択する者は，柔道衣を持参してください。

注 2）出願書類と同時に提出するもの：スポーツ活動の調書（本学指定の様式）
調書には，調書に記載した各種大会出場における成績（順位，タイムなど）を証明する資料を添付すること。
（記載事項がない場合も調書は必ず提出してください。）
＊証明する資料とは，大会プログラム，メンバー表，賞状，認定証，ランキング表，新聞や専門雑誌の切り抜きなどです。（いずれもコピーにて可。資料は可能な限りＡ４判としてください。）

(3) 合格者の決定方法

教育文化学部

課程・学科等	合格者の決定方法
学校教育課程 初等中等教育コース	大学入学共通テストを免除し，調査書，推薦書，志願理由書，実技検査調書，小論文，実技検査（体育）および面接（口頭試問を含む）の結果を総合して判定します。

以下の基準点に満たない者は，合計点にかかわらず合格者としません。
小論文 80 点，実技検査 80 点，面接 40 点

総合環境理工学部

課程・学科等		合格者の決定方法
応用化学生物学科		大学入学共通テストを免除し，調査書，推薦書，志願理由書および面接（口頭試問を含む）の結果を総合して判定します。
環境数物科学科	数理科学・地球環境学コース	
	機能デバイス物理コース	
社会システム工学科	モビリティコース	
	電気システムコース	
	社会基盤コース	

4 試験の日程

学部	課程・学科	コース	試験日	事項	時間
教育文化学部	学校教育課程	初等中等教育コース	**令和８年11月21日（土）**	集合時刻	8:30
				小論文	9:00 ～ 10:00
				実技検査および面接	10:30 ～ 17:00
総合環境理工学部	応用化学生物学科		**令和８年11月21日（土）**	集合時刻	8:30
	環境数物科学科	数理科学・地球環境学コース			
		機能デバイス物理コース			
	社会システム工学科	モビリティコース		面接	9:00 ～ 17:00
		電気システムコース			
		社会基盤コース			

注）実技検査および面接の終了時刻は，受験者数により変わる場合があります。

5 試験場

学部	試験場
教育文化学部	秋田大学教育文化学部試験場　（手形キャンパス：秋田市手形学園町１番１号）
総合環境理工学部	秋田大学総合環境理工学部試験場（手形キャンパス：秋田市手形学園町１番１号）

6 受験上の注意事項

① 試験当日は，**「令和９年度秋田大学受験票」**を忘れずに必ず持参してください。なお，試験室棟に入る際には，本学受験票を係員に提示してください。

② 試験当日は，受験者は８時 10 分から試験室棟へ入ることができます。

③ 試験開始時刻に遅刻した場合は，試験開始時刻後 10 分以内の遅刻に限り，受験を認めます。

④ 試験時間中の答案提出は認めません。

⑤ 小論文の試験室では，受験票，黒鉛筆，鉛筆キャップ，シャープペンシル，消しゴム，鉛筆削り（電動式・大型のもの・ナイフ類を除く。），定規，時計（辞書，電卓，端末等の機能があるものや，それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマー・大型のものを除く），目薬，眼鏡，ティッシュペーパー（袋または箱から中身だけを取り出したもの）以外のものは，机の上に置くことはできません。

⑥　携帯電話，スマートフォン，ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等）等の電子機器類を持参した場合は，試験室棟に入る前に必ずアラームの設定を解除し電源を切っておいてください。試験時間中，かばん等にしまわず，身につけていたり手に持っていた場合は，不正行為となることがあります。

⑦　不正行為を行った場合は以後の受験は認められず，個別学力検査等の受験は失格となります。
　不正行為に該当する行為は，令和９年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト受験案内に記された不正行為の内容に準じます。また，状況により警察へ被害届を提出する場合があります。

⑧　試験場・試験室において，他の受験者の迷惑になる行為は行わないでください。

⑨　試験場の下見は，試験前日の 13 時から 17 時までの間に行ってください。なお，下見は試験室棟入口までとし，試験室棟には入れません。

⑩　試験前日および試験当日は，受験者および付添者の車両による入構を禁止します。なお，試験当日，試験場には，受験者および付添者の控室を設けています。

⑪　受験者（特に遠隔地からの者）は，**荒天等による交通機関の乱れを考慮し**，前日までに秋田市内に到着する等ゆとりをもった日程を組むほか，衣類・履物等にも留意してください。

⑫　試験当日に体調の悪い方，家族や身近に感染症に罹患している人がいる方などは，感染対策としてマスクの着用を推奨いたします。

７　感染症に関する注意事項

学校保健安全法施行規則で出席停止が定められている感染症に罹患した場合は，他の受験者等への感染拡大防止の面から，学校保健安全法に準じた取り扱いとし，試験当日までに治癒していない方および出席停止期間を経過していない方は，感染症の種類により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められた場合を除き，原則として受験を認めません。

なお，感染の拡大等により，上記によらず急遽変更する場合は，本学ホームページ（https://www.akita-u.ac.jp/）にて連絡します。

８　出願手続

出願は，インターネットによる出願のみとします。出願手続は，インターネットによる出願登録，入学検定料の支払いを行った後，必要書類を印刷して出願期間内に郵送により提出することにより完了します。

２～５ページの「インターネット出願の流れ」をよく読んで手続きを行ってください。

インターネット出願サイトからの登録だけでは出願手続完了にはなりませんので注意してください。

(1) 出願期間

インターネット出願登録期間および 入学検定料支払期間	出願に必要な書類の提出期間
令和８年10月29日（木）10 時から 令和８年11月９日（月）13 時まで	**令和８年11月２日（月）から 令和８年11月９日（月）17 時まで（必着）**

(2) 出願方法

出願に必要な書類の提出は，「速達簡易書留」による郵送とし，**11月９日（月）17 時必着**とします。

ただし，**11月８日（日）以前の発信局の消印がある速達簡易書留郵便に限り，11月10日（火）17 時までに到着した場合**は受付します。

送付先：〒 010-8502　秋田市手形学園町１番１号　秋田大学入試課

(3) 事前準備

インターネット出願登録の前に，あらかじめ次のとおり確認および準備をしてください。

パソコン等の利用環境	PC でのインターネット出願は，次の環境で行ってください。 ＜ブラウザ＞ ・Microsoft Edge 最新版 ・Google Chrome 最新版 ・Mozilla Firefox 最新版 ・Apple Safari 最新版 ※　ブラウザのタブ機能を使用して，複数のタブで同時に申込操作を行うと，選択した内容が他のタブに引き継がれてしまう等の不具合が発生する場合があります。 複数タブでの同時申込操作は控えてください。 ※　前画面へ戻る場合はブラウザの「戻る」ボタンは利用せず，画面内に表示されている「戻る」ボタンを利用してください。 スマートフォン，タブレットでのインターネット出願では次の環境で行ってください。 ・iOS 12 以上 ・Android OS ８以上 ・iPad OS 13 以上 ※　各 OS の標準ブラウザが推奨環境となります。お使いのブラウザで表示が崩れる場合は，他のブラウザで確認してください。 ※　Android のスマートフォンからの操作で Chrome の PC 版からは PDF の表示ができない場合があります。その際はモバイル版を利用してください。

PDF 表示・印刷 ソフトウェア	入学志願票（PDF）の表示･印刷にはアドビシステムズ社が配布している Adobe Reader（無償）が必要です。
メールアドレス	出願にはメールアドレスが必要となりますので，事前にメールアドレスをご用意ください。 「入学志願票」等をプリントアウトするため，パソコンで使用できるメールアドレスを推奨しています。 なお，ドメイン指定受信を設定されている方は，次のドメインからのメールを受信できるように設定を追加してください。 ＜@e-apply.jp＞ ＜@jimu.akita-u.ac.jp＞
プリンター	入学志願票（PDF）および受験票（PDF）を出力するため，Ａ４普通紙に印刷することができる**カラープリンター**が必要です。 印刷用紙（普通紙・PPC 用紙・OA 共通用紙・コピー用紙等）とともに用意してください。
角形２号封筒	出願書類の提出用のため，市販の角形２号封筒（240㎜ × 332㎜）を用意してください。
本人写真データ	出願手続きの際，アップロードしてください。出願前３ヶ月以内に撮影した，正面・上半身・無帽・背景なしのカラー写真で，容量は 10MB 以内のデータを準備してください。写真データは縦４，横３の比率が望ましいです。

(4) 出願書類等

〈全員が提出するもの〉

書類等	摘　　要
入学志願票	本学のインターネット出願サイトから出願登録を行ってください。 志願者情報を入力し，顔写真データをアップロードして志願者情報の登録終了後に，検定料 17,000 円を支払ってください。支払方法は，クレジットカード，ネットバンキング，コンビニエンスストア，またはペイジー対応銀行ＡＴＭのいずれかとなります。(払込手数料が別途必要です。) その後,入学志願票をインターネット出願サイトからＡ４サイズでカラー印刷してください。
調　査　書	文部科学省所定の様式により在学（出身）学校長が作成し，厳封したもの。 なお，本学では Ⓐ 標示を求めておりませんので Ⓐ 標示であっても「 Ａ 」として取り扱います。 また，調査書の記載について ① 調査書様式裏面「７．指導上参考となる諸事項」欄については，簡潔に記載してください。 ② 「８．備考」欄については，記載を求めません。記載されている場合でも評価の対象としません。 ただし，「9. 出欠の記録」の欠席日数の中に病気・事故等による本人に帰責されない身体･健康上の理由による欠席が含まれる場合は，「8. 備考」欄に記載してください。 ※ 令和元年度以前の卒業生については，従前の様式による提出でも構いません。
推　薦　書	本学所定の様式により在学（出身）学校長が作成し，厳封したもの（「推薦書記入上の注意」を確認のうえ，記入してください。）なお，様式は本学ホームページ(https://www.akita-u.ac.jp/）からダウンロードできます。
志願理由書	本学所定の様式に，志願者本人が記入してください。なお，様式は本学ホームページ(https://www.akita-u.ac.jp/）からダウンロードできます。各種大会や資格・検定等に関わることを記入する場合は，その努力のプロセス等について記入してください。各種大会や資格･検定等に関わることを記入しない場合は，このかぎりではありません。
出願書類提出用 宛名シート	インターネット出願サイトからＡ４サイズでカラー印刷し（入学志願票印刷時に印刷できます。），各自で用意する市販の角形２号封筒（240 ㎜× 332 ㎜）に全面糊付けで貼付してください。

〈該当者が提出するもの〉

○教育文化学部学校教育課程初等中等教育コース

書類等	摘　　要
実技検査調書	本学所定の様式に，所要事項を記入してください。なお，様式は本学ホームページ(https://www.akita-u.ac.jp/）からダウンロードできます。
実技検査関係資料	「スポーツ活動の調書」に本人以外で内容を証明できる方が所要事項を記入し，記載内容を証明する資料と一括し,実技検査調書に添えて提出してください。詳細は,25 ページ記載の「実技検査の内容」を参照してください。なお,「スポーツ活動の調書」の様式は本学ホームページ（https://www.akita-u.ac.jp/）からダウンロードできます。記載事項がない場合も必ず提出してください。

(5) 出願にあたっての留意事項

① 出願書類等に不備がある場合は，これを受理しません。
② 受理した出願書類等の返還および記載事項の変更は認めません。
③ 出願後，連絡先に変更があった場合は，書面により届け出てください。
④ **国公立大学の学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す場合，課さない場合を含めて）への出願は，一つの大学・学部に限られています。**したがって，本学の学校推薦型選抜に出願した場合は，他の国公立大学の学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す場合，課さない場合を含めて）へ出願することはできません。また，他の国公立大学の学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す場合，課さない場合を含めて）に不合格となった者が本学の学校推薦型選抜へ出願することもできません。
ただし，本学の教育文化学部学校教育課程初等中等教育コースの学校推薦型選抜Ⅰで不合格になった者は，同コースの学校推薦型選抜Ⅱに出願することができます。
⑤ 出願手続完了後，既納の検定料は，いかなる理由があっても返還しません。ただし，検定料の振込後に出願しなかった場合や二重払いについては返還しますので，原則として令和８年11月10日(火) から令和８年11月16日(月) までの間に，秋田大学経理・調達課出納担当（電話 018-889-2234）へ申し出てください。

(6) 受験票の印刷

受験票は，志願者が郵送した提出書類を確認して受理した後，インターネット出願サイトから印刷できるようになります。印刷可能となりましたら，出願手続時に登録した志願者のメールアドレスへ通知します。

受験票の印刷開始日　　令和８年11月17日(火)以降

９　合格者の発表

令和８年12月４日(金) 15時(予定)

合格者には合格通知書を，在学(出身)学校長には合否通知書を郵送します。また，秋田大学ホームページ(https://www.akita-u.ac.jp/) に合格者の受験番号を掲載します。

注）電話による問い合わせには一切応じません。

10　入学手続

入学手続期間　　**令和８年12月10日(木)・11日(金)**
入学手続の方法　　51ページに記載のとおり

11　個人の成績等の開示

受験者の個人成績は，**合格者および不合格者本人（総合環境理工学部は不合格者に限る）**に次により開示します。

(1) 開示内容

①教育文化学部
得　点　　・個別学力検査等（小論文，実技検査，面接の得点）
順位等　　・Ａ，Ｂ，Ｃ等のランク区分で開示　※ただし，合格者（不合格者）が３名未満の場合を除く。
調査書　　・「各教科・科目等の学習の記録」，「各教科の学習成績の状況」および「学習成績概評」欄

②総合環境理工学部
順位等　　・Ａ，Ｂ，Ｃ等のランク区分で開示　※ただし，不合格者が３名未満の場合を除く。

(2) 申込期間

令和９年５月１日（土）～令和９年６月30日（水）

(3) 申 込 者

受験者本人に限ります（**代理人は不可**）。

(4) 申込方法

郵送で受け付けます。注意事項をよく読み，次の書類等により申し込んでください。
・本学の受験票　・入試成績開示申込書　・返信用の封筒

注意事項
・申込みの際，**本学の受験票**が必要となります。開示を希望する場合は申込期間前に誤って破棄しないよう注意してください。
・入試成績開示申込書は必ず受験者本人が記入してください。代理人による申し込みはできません。
・入試成績開示申込書は本学ホームページ（https://www.akita-u.ac.jp/）「入試情報→成績開示」からダウンロードしてください。
・返信用封筒は長形３号に限るものとし，おもて面に受験者の郵便番号・住所・氏名を明記し，460円分の切手を貼ってください。

申込窓口　　秋田大学入試課　〒010-8502　秋田市手形学園町１番１号　　電話 018-889-2256

(5) 開示方法

申込みが受理されてから１ヵ月以内に，受験者本人あてに簡易書留郵便で送付します。

学 校 推 薦 型 選 抜 Ⅱ

（大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜）

1　募集人員（学校推薦型選抜Ⅱ）

学部	学科・課程・コース・枠等		募集人員
国際資源学部	国際資源学科	資源政策コース	4人
		資源地球科学コース	4人
		資源開発環境コース	6人
	小計		14人
教育文化学部	学校教育課程	初等中等教育コース	20人
		特別支援教育コース	6人
		こども発達コース	9人
	地域文化学科		18人
	小計		53人
医学部	医学科	一般枠	20人
		地域枠 東北地域枠	10人
		地域枠 秋田県地域枠	(※)
	小計		30人(※)
合計			97人(※)

※　医学科秋田県地域枠の募集人員は決定次第ホームページでお知らせいたしますのでご確認ください。

2　推薦の要件

国際資源学部

学科・コース		推薦の要件
国際資源学科	資源政策コース	次の(1)から(3)の要件すべてに該当する者 (1)　次のいずれかに該当する者 ①　高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）もしくは中等教育学校を令和９年３月卒業見込みの者（令和８年度の途中に卒業を認められる者を含む。） ②　文部科学大臣が高等学校の課程と同等または相当する課程を有するものとして認定または指定した在外教育施設の当該課程を令和９年３月修了見込みの者（令和８年度の途中に修了を認められる者を含む。） (2) (1)の学校における学業成績および人物ともに優れ，出身学校長（高等学校長等）が責任を持って推薦でき，合格した場合，入学を確約できる者 (3) 本学他学部および他の国公立大学の学校推薦型選抜に出願していない者
	資源地球科学コース	
	資源開発環境コース	

教育文化学部

<table>
<tr><th colspan="2">課程・学科・コース等</th><th>推　薦　の　要　件</th></tr>
<tr><td rowspan="3">学
校
教
育
課
程</td><td>初等中等教育コース</td><td>次の(1)から(6)の要件すべてに該当する者
(1)　次のいずれかに該当する者
①　高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）もしくは中等教育学校を卒業した者および令和９年３月卒業見込みの者
②　文部科学大臣が高等学校の課程と同等または相当する課程を有するものとして認定または指定した在外教育施設の当該課程を修了した者および令和９年３月修了見込みの者
③　文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程を令和９年３月修了見込みの者（③の要件は実技検査で受験する者に限る。）
(2)　教員を志望し，人物等について出身学校長（高等学校長等）が責任を持って推薦でき，合格した場合，入学を確約できる者
(3)　小論文で受験する者は調査書の学習成績概評がＢ段階以上（全体の学習成績の状況が3.5以上）で，なおかつ，国語，地理歴史，公民，数学，理科，外国語または家庭いずれか１教科の学習成績の状況が 4.0 以上の者
(4)　音楽の実技検査で受験する者は技能・表現力が優れている者
(5)　美術の実技検査で受験する者は造形表現力が優れている者
(6)　本学他学部および他の国公立大学の学校推薦型選抜に出願していない者</td></tr>
<tr><td>特別支援教育コース</td><td>次の(1)から(4)の要件すべてに該当する者
(1)　次のいずれかに該当する者
①　高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）もしくは中等教育学校を卒業した者および令和９年３月卒業見込みの者
②　文部科学大臣が高等学校の課程と同等または相当する課程を有するものとして認定または指定した在外教育施設の当該課程を修了した者および令和９年３月修了見込みの者
(2)　人物等について，出身学校長（高等学校長等）が責任を持って推薦でき，合格した場合，入学を確約できる者
(3)　調査書の学習成績概評がＢ段階以上（全体の学習成績の状況が 3.5 以上）の者
(4)　本学他学部および他の国公立大学の学校推薦型選抜に出願していない者</td></tr>
<tr><td>こども発達コース</td><td>次の(1)から(4)の要件すべてに該当する者
(1)　次のいずれかに該当する者
①　高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）もしくは中等教育学校を卒業した者および令和９年３月卒業見込みの者
②　文部科学大臣が高等学校の課程と同等または相当する課程を有するものとして認定または指定した在外教育施設の当該課程を修了した者および令和９年３月修了見込みの者
(2)　人物等について，出身学校長（高等学校長等）が責任を持って推薦でき，合格した場合，入学を確約できる者
(3)　調査書の学習成績概評がＢ段階以上（全体の学習成績の状況が3.5以上）の者
(4)　本学他学部および他の国公立大学の学校推薦型選抜に出願していない者</td></tr>
<tr><td colspan="2">地　域　文　化　学　科</td><td>次の (1) から (4) の要件すべてに該当する者
(1)　次のいずれかに該当する者
①　高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）もしくは中等教育学校を卒業した者および令和９年３月卒業見込みの者
②　文部科学大臣が高等学校の課程と同等または相当する課程を有するものとして認定または指定した在外教育施設の当該課程を修了した者および令和９年３月修了見込みの者
(2)　学業成績および人物ともに優れ，出身学校長（高等学校長）が責任を持って推薦でき，合格した場合，入学を確約できる者
(3)　調査書の学習成績概評がＢ段階以上（全体の学習成績の状況が 3.5 以上）で，なおかつ，①国語，②地理歴史または公民，③外国語の３教科の学習成績の状況の平均が 4.0 以上※の者
外国語の学習成績の状況について，各高等学校等において外国語教科を第１外国語・第２外国語のように２以上に区分している場合，調査書に記載された第１外国語（英語）の学習成績の状況，または第１外国語・第２外国語を合わせた学習成績の状況のいずれか高い方を対象とする。
(4)　本学他学部および他の国公立大学の学校推薦型選抜に出願していない者
※小数点第２位以下は切り捨てとする。</td></tr>
</table>

医学部

学科・枠			推　薦　の　要　件
医学科	一　般　枠		次の(1)から(3)の要件すべてに該当する者 (1)　次のいずれかに該当する者 ①　高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）もしくは中等教育学校を令和９年３月卒業見込みの者（令和８年度の途中に卒業を認められた者を含む。） ②　文部科学大臣が高等学校の課程と同等または相当する課程を有するものとして認定または指定した在外教育施設の当該課程を令和９年３月修了見込みの者（令和８年度の途中に修了を認められた者を含む。） (2)　調査書の学習成績概評がA段階（全体の学習成績の状況が4.3以上）に属する者のうち，本学科への入学に固い意志を持ち，特に医学の分野で将来にわたり活躍を期待する十分な資質を有すると思われる者で，出身学校長（高等学校長等）が責任を持って推薦でき，合格した場合，入学を確約できる者 (3)　本学他学部および他の国公立大学の学校推薦型選抜に出願していない者
	地域枠＊以下必読	東北地域枠	次の(1)から(6)の要件すべてに該当する者 (1)　次にあげる地域の高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）もしくは中等教育学校を令和８年３月以降に卒業した者および令和９年３月卒業見込みの者 ［青森県，岩手県，宮城県，山形県，福島県］ (2)　大学卒業後，次にあげるⅰ）～ⅲ）を確約できる者 ⅰ）　秋田県内の研修指定病院で２年間の臨床研修（初期研修）に従事すること ⅱ）　臨床研修修了後，秋田大学の専門研修プログラムにおいて大学病院を含む秋田県内医療機関での専門研修を行い専門医資格を取得すること ⅲ）　臨床研修修了後，少なくとも５年間，秋田県内の研修指定病院で勤務すること (3)　「同意書（東北地域枠）」を提出する者 (4)　学業成績および人物ともに優れ，出身学校長（高等学校長等）が責任を持って推薦でき，合格した場合，入学を確約できる者 (5)　調査書の学習成績概評がA段階（全体の学習成績の状況が 4.3 以上）の者 (6)　本学他学部および他の国公立大学の学校推薦型選抜に出願していない者
		秋田県地域枠	次の(1)から(5)の要件すべてに該当する者 (1)　秋田県内の高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）もしくは中等教育学校を令和８年３月以降に卒業した者および令和９年３月卒業見込みの者 (2)　入学後は秋田県の修学資金の貸与を受けるとともに，医師免許取得後は，秋田県地域枠医師等キャリア形成プログラムに従って，定められた期間，義務履行することを確約できる者 (3)　学業成績および人物ともに優れ，出身学校長（高等学校長等）が責任を持って推薦でき，合格した場合，入学を確約できる者 (4)　調査書の学習成績概評がA段階（全体の学習成績の状況が 4.3 以上）の者 (5)　本学他学部および他の国公立大学の学校推薦型選抜に出願していない者

＊【医学部医学科：東北地域枠に関する事項】
秋田県内の研修指定病院については以下の URL から確認してください。
https://common3.pref.akita.lg.jp/ishikakuho/student/hospital

秋田の医療情報
みてたんせ
QR コード

＊【医学部医学科：秋田県地域枠に関する事項】
秋田県地域枠の出願にあたっては，「秋田県地域枠医師等キャリア形成プログラム」を必読し，秋田県医学生修学資金制度を理解のうえ，出願してください。

秋田県医学生修学資金について
ＵＲＬ　https://common3.pref.akita.lg.jp/ishikakuho/study-funding/student
あきたの医師・医療情報総合サイト「秋田の医療情報、みてたんせ」
＞秋田県の修学資金制度＞医学生向け修学資金＞秋田県地域枠医師等キャリア形成プログラム
問合せ先：秋田県医療人材対策室　電話番号 018-860-1410

3　選抜方法等

(1) 選抜方法および採点・評価の観点，基準等

国際資源学部

学科・コース		実施教科等	
		教科等	採点・評価の観点，基準等
国際資源学科	資源政策コース	面接	「知識・技能」,「思考力・判断力・表現力」,「主体性・多様性・協働性」を重点的に評価します。
	資源地球科学コース	面接	「知識・技能」,「思考力・判断力・表現力」,「主体性・多様性・協働性」を重点的に評価します。
	資源開発環境コース	面接	「知識・技能」,「思考力・判断力・表現力」,「主体性・多様性・協働性」を重点的に評価します。

大学入学共通テストの成績，および個別学力検査等の結果を総合して判定します。

教育文化学部

課程・学科・コース等		実施教科等		受験を要する教科等
		教科等	採点・評価の観点，基準等	
学校教育課程	初等中等教育コース	小論文	教員の資質形成の基礎となる読解力，論理的思考能力，個性的な発想力，文章表現力をみます。	小論文および面接 または 実技検査(音楽・美術)および面接
		実技検査	[実技検査の採点・評価のねらい] 音楽：音楽基礎力，演奏技能・表現力を中心に採点・評価します。 美術：造形能力，表現能力，問題解決能力を中心に採点・評価します。 (35 ページ「実技検査の内容」参照)	
		面接	[小論文を受験する場合の面接] 教員の資質形成の基礎となる音声言語における理解力，表現力，論理的思考能力，個性的な発想力等の総合的なコミュニケーション能力をみます。また，将来教職を担っていく意欲をみます。 [実技検査を受験する場合の面接] 音楽：音楽教育に関する意欲および資質について評価します。 美術：美術教育に関する意欲および資質について評価します。	
	特別支援教育コース	小論文	特別支援教育に関する日本語の文章から設問し，論理的思考能力，文章表現力をみます。	小論文および面接
		面接	教育や発達，障害に関する目的意識，学習意欲，思考力および表現力，主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度をみます。	
	こども発達コース	小論文	現代の文化・社会や教育・保育に関する日本語の文章を素材にして設問し，論述させ，理解力・思考力・表現力等をみます。	小論文および面接
		面接	教育・保育や心理・発達に関する試問を含む面接を通して，目的意識，学習意欲，思考力および表現力をみます。	
地域文化学科		小論文	社会や文化に関する課題文に提起されている問題点を的確に読み取り，高等学校等までで学んだ基礎知識に基づいてその問題点を考察し，自分の見解を論理的かつ説得力を持って文章化する能力をみます。	小論文および面接
		面接	地域文化学科における人材養成の目的・目標をよく理解したうえで，志望理由および入学後の学習の目標等を明確かつ簡潔に表現できる能力をみます。同時に関連諸分野への関心の高さ，および主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度をみます。	

大学入学共通テストの成績，調査書，推薦書，小論文，実技検査および面接の結果を総合して判定します。

実技検査の内容

教育文化学部　学校教育課程　初等中等教育コース

【音楽】
実技の内容：１～３のジャンルから２つを選択し，演奏する。
１．ピアノ（任意の楽曲を選び，暗譜で演奏）
２．声楽（以下の４曲から１曲を選び，原語および暗譜で演奏）
ａ．中田章作曲　早春賦　変ホ長調（２番まで）
ｂ．A. スカルラッティ作曲　Se tu della mia morte　ヘ短調
ｃ．G. トレッリ作曲　Tu lo sai　二長調
ｄ．G. パイジェッロ作曲　Nel cor più non mi sento　ヘ長調
※　伴奏は本学教員が担当します。伴奏譜は本学で用意します。

３．管楽器，弦楽器，打楽器，和楽器
（１つの楽器を選び，任意の独奏曲を暗譜，無伴奏で演奏）
※　無伴奏の作品は独奏譜を，ピアノ伴奏付き独奏曲は伴奏譜を出願時に提出してください。
なお，楽譜には楽器名を記載し，学校推薦型選抜Ⅱと明記してください。
使用する楽器は次に示すものとし，各自持参してください。
ただし，マリンバ（Ｃスケール，４オクターヴ）は大学で用意します。
管楽器・・・フルート，オーボエ，クラリネット，サクソフォーン，ファゴット，ホルン，
トランペット，トロンボーン，ユーフォニアム，テューバ
弦楽器・・・ヴァイオリン，ヴィオラ，チェロ，コントラバス
打楽器・・・マリンバ
和楽器・・・三味線，箏，尺八

【美術】
実技の内容：基礎的な立体および平面の造形（３時間）
※　実技検査に必要なものは本学で用意します。

医学部

学科・専攻等		実施教科等		受験を要する教科等
		教科等	採点・評価の観点，基準等	
医学科	一般枠	小論文	社会・文化・自然科学・医療等に関する日本語および英語の文章を素材にしていくつかの設問をし，それに対して論述させ，理解力・思考力・表現力等をみます。	小論文および面接
		面接	調査書を参考に，医師としての適性，即ちコミュニケーション能力・科学的思考・論理的思考，医師としての倫理性，社会への関心度，積極性・意欲・将来性等について評価します。（集団面接）	
	東北地域枠 秋田県地域枠	小論文	社会・文化・自然科学・医療等に関する日本語および英語の文章を素材にしていくつかの設問をし，それに対して論述させ，理解力・思考力・表現力等をみます。	小論文および面接
		面接	調査書を参考に，地域医療に貢献する強い意欲，医師としての適性，即ちコミュニケーション能力・科学的思考・論理的思考，医師としての倫理性，社会への関心度，積極性・意欲・将来性等について評価します。（個別面接）	

大学入学共通テストの成績，調査書，推薦書，志願理由書，小論文および面接の結果を総合して判定します。

(2) 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目および注意事項

本学が指定する教科・科目を一つでも受験していない場合は，出願できません。各学部における注意事項をよく読み，漏れがないよう注意してください。

〔国際資源学部〕

教科・科目等				受験を要する教科・科目名																										
				国語	地理歴史				公民			数学			理科								外国語					情報
学部・学科・コース			パターン	国語	地理総合、地理探究	歴史総合、日本史探究	歴史総合、世界史探究	地理総合／歴史総合／公共	公共、倫理	公共、政治・経済	地理総合／歴史総合／公共	数学Ⅰ、数学A	数学Ⅰ	数学Ⅱ、数学B、数学C	物理基礎	化学基礎	生物基礎	地学基礎	物理	化学	生物	地学	英語	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語	情報Ⅰ
国際資源学部	国際資源学科	資源政策コース		◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	◎
				1	2							1											1				1
		資源地球科学コース	①	◎	×	×	×	×	×	×	×	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
				1								1		1	（2）				1				1					1
			②	◎	×	×	×	×	×	×	×	○	○	◎	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
				1								1		1					2				1					1
		資源開発環境コース	①	◎	×	×	×	×	×	×	×	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
				1								1		1	（2）				1				1					1
			②	◎	×	×	×	×	×	×	×	○	○	◎	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
				1								1		1					2				1					1

◎は必ず受験を要する科目，○は選択して受験を要する科目，×は受験を要しない科目，その下欄の数字は必要科目数を示します。但し理科「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」は科目として１つであり、カッコ内の数字は解答が必要な出題範囲数を示します。

〔国際資源学部における注意事項〕

ア　上記の教科・科目一覧表において，物理基礎，化学基礎，生物基礎，地学基礎は，大学入学共通テストの受験教科・科目上では，それぞれを「出題範囲」と呼び，理科「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」として１科目扱いとなり，このなかから必ず２つの出題範囲を選択し受験することになります。

イ　理科で［「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」］と［「物理」,「化学」,「生物」,「地学」から１科目］を選択する場合には,「同一名称を含む科目・出題範囲」を選択することができます。

ウ　地理歴史および公民の「地理総合／歴史総合／公共」を受験する場合は，このなかから必ず２つを選択し受験することになります。

エ　地理歴史および公民においては,「公共、倫理」と「公共、政治・経済」の組み合わせを選択することはできません。また,「地理総合／歴史総合／公共」を選択した者は，選択解答したものと同一名称を含む科目の組み合わせを選択することはできません。

オ　英語にはリスニングテストを含みます。なお，リスニングの受験を免除された者については，リーディング（100 点満点）の素点を 200 点満点に換算して利用します。

カ　資源地球科学コースと資源開発環境コースの受験者は，それぞれのパターンのいずれかを満たすように受験してください。

キ　資源政策コースの数学で，２科目受験した場合は，高得点の科目を合格判定に用います。

〔教育文化学部〕

教科・科目等 ＼ 学部・課程・学科等			パターン	受験を要する教科・科目名																						
				国語	地理歴史				公民			数学			理科								外国語					情報
				国語	地理総合、地理探究	歴史総合、日本史探究	歴史総合、世界史探究	地理総合／歴史総合／公共	公共、倫理	公共、政治・経済	地理総合／歴史総合／公共	数学Ⅰ、数学A	数学Ⅰ	数学Ⅱ、数学B、数学C	物理基礎	化学基礎	生物基礎	地学基礎	物理	化学	生物	地学	英語	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語	情報Ⅰ
教育文化学部	学校教育課程	初等中等教育コース	①	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
				1	2							1			（2）				1				1				1
			②	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
				1	2							1							2				1				1
			③	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
				1	1							1	1		（2）				1				1				1
			④	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
				1	1							1	1						2				1				1
			⑤	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	◎
				1	2							1	1		（2）								1				1
			⑥	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
				1	2							1	1						1				1				1
		特別支援教育コース	①	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
				1	2							1			（2）				1				1				1
			②	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
				1	2							1							2				1				1
			③	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
				1	1							1	1		（2）				1				1				1
			④	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
				1	1							1	1						2				1				1
			⑤	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	◎
				1	2							1	1		（2）								1				1
			⑥	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
				1	2							1	1						1				1				1
		こども発達コース	①	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
				1	2							1			（2）				1				1				1
			②	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
				1	2							1							2				1				1
			③	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
				1	1							1	1		（2）				1				1				1
			④	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
				1	1							1	1						2				1				1
			⑤	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	◎
				1	2							1	1		（2）								1				1
			⑥	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
				1	2							1	1						1				1				1
	地域文化学科		①	◎	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
				1																							
			②	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×
																							1				

◎は必ず受験を要する科目，○は選択して受験を要する科目，×は受験を要しない科目，その下欄の数字は必要科目数を示します。但し理科「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」は科目として１つであり、カッコ内の数字は解答が必要な出題範囲数を示します。

〔教育文化学部における注意事項〕

ア　上記の教科･科目一覧表において，物理基礎，化学基礎，生物基礎，地学基礎は，大学入学共通テストの受験教科･科目上では，それぞれを「出題範囲」と呼び，理科「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」として１科目扱いとなり，このなかから必ず２つの出題範囲を選択し受験することになります。

イ　理科で［「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」］と［「物理」，「化学」，「生物」，「地学」から１科目］を選択する場合には，「同一名称を含む科目・出題範囲」を選択することができます。

ウ　大学入学共通テストで１科目を指定しているもののうち，理科の試験時間において「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」，「物理」，「化学」，「生物」，「地学」から２科目を受験した場合は，解答順に，前半に受験した科目を第１解答科目，後半に受験した科目を第２解答科目とし，第１解答科目の得点を合格判定に用います。

エ　地理歴史および公民の「地理総合／歴史総合／公共」を受験する場合は，このなかから必ず２つを選択し受験することになります。

オ　地理歴史および公民においては，「公共、倫理」と「公共、政治・経済」の組み合わせを選択することはできません。また，「地理総合／歴史総合／公共」を選択した者は，選択解答したものと同一名称を含む科目の組み合わせを選択することはできません。

カ　大学入学共通テストで１科目を指定しているもののうち，地理歴史・公民の試験時間において２科目受験した場合は，解答順に，前半に受験した科目を第１解答科目，後半に受験した科目を第２解答科目とし，第１解答科目の得点を合格判定に用います。

キ　英語にはリスニングテストを含みます。なお，リスニングの受験を免除された者については，リーディング（100 点満点）の素点を 200 点満点に換算して利用します。

ク　それぞれのパターンのいずれかを満たすように受験してください。複数のパターンを満たす場合は，高得点のパターンを合格判定に用います。

〔医学部〕

教科・科目等			受験を要する教科・科目名																								
			国語	地理歴史				公民			数学			理科								外国語					情報
学部・学科		パターン	国語	地理総合、地理探究	歴史総合、日本史探究	歴史総合、世界史探究	地理総合／歴史総合／公共	公共、倫理	公共、政治・経済	地理総合／歴史総合／公共	数学Ⅰ、数学A	数学Ⅰ	数学Ⅱ、数学B、数学C	物理基礎	化学基礎	生物基礎	地学基礎	物理	化学	生物	地学	英語	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語	情報Ⅰ
医学部	医学科		◎	○	○	○	×	○	○	×	◎	×	◎	×	×	×	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	◎
			1	1							1		1					2				1					1

◎は必ず受験を要する科目，○は選択して受験を要する科目，×は受験を要しない科目，その下欄の数字は必要科目数を示します。

〔医学部における注意事項〕

ア　大学入学共通テストで１科目を指定しているもののうち，地理歴史，公民の試験時間において２科目受験した場合は，解答順に，前半に受験した科目を第１解答科目，後半に受験した科目を第２解答科目とし，第１解答科目の得点を合格判定に用います。

イ　英語にはリスニングテストを含みます。なお，リスニングの受験を免除された者については，リーディング（100 点満点）の素点を 200 点満点に換算して利用します。

(3) 大学入学共通テストおよび個別学力検査等の配点【学校推薦型選抜Ⅱ】

学部・学科・課程等			試験の区分	国語	地歴公民	数学	理科	外国語	情報	実技検査	小論文	面接	合計	
国際資源学部	国際資源学科	資源政策コース	大学入学共通テスト	200 (200×1.0×1)	200 (100×1.0×2)	100 (100×1.0×1)		200 (200×1.0×1)	50 (100×0.5×1)				750	1150
			個別学力検査等									400	400	
		資源地球科学コース	大学入学共通テスト	200 (200×1.0×1)		300 (100×1.5×2)	300 (100×1.5×2)	200 (200×1.0×1)	50 (100×0.5×1)				1050	1400
			個別学力検査等									350	350	
		資源開発環境コース	大学入学共通テスト	200 (200×1.0×1)		300 (100×1.5×2)	300 (100×1.5×2)	200 (200×1.0×1)	50 (100×0.5×1)				1050	1400
			個別学力検査等									350	350	
教育文化学部	学校教育課程	初等中等教育コース	大学入学共通テスト	200×7/9×1	※100×7/9×1 ※100×7/9×1	※100×7/9×1 ※100×7/9×1	※100×7/9×1 ※100×7/9×1	200×7/9×1	50 (100×0.5×1)				750	1050
			個別学力検査等							＃200	＃200	100	300	
		特別支援教育コース	大学入学共通テスト	100 (200×0.5×1)	※50 (100×0.5×1) ※50 (100×0.5×1)	※50 (100×0.5×1) ※50 (100×0.5×1)	※50 (100×0.5×1) ※50 (100×0.5×1)	100 (200×0.5×1)	20 (100×0.2×1)				470	770
			個別学力検査等								200	100	300	
		こども発達コース	大学入学共通テスト	100 (200×0.5×1)	※50 (100×0.5×1) ※50 (100×0.5×1)	※50 (100×0.5×1) ※50 (100×0.5×1)	※50 (100×0.5×1) ※50 (100×0.5×1)	100 (200×0.5×1)	20 (100×0.2×1)				470	770
			個別学力検査等								200	100	300	
	地域文化学科		大学入学共通テスト	＃100 (200×0.5×1)				＃100 (200×0.5×1)					100	500
			個別学力検査等								200	200	400	
医学部	医学科		大学入学共通テスト	100 (200×0.5×1)	50 (100×0.5×1)	100 (100×0.5×2)	100 (100×0.5×2)	100 (200×0.5×1)	50 (100×0.5×1)				500	750
			個別学力検査等								100	150	250	

注1：大学入学共通テスト欄の（　）内は，大学入学共通テストの素点，傾斜率および科目数を示します。（素点×傾斜率×科目数）

注2：大学入学共通テストの地理歴史，公民の「地理総合／歴史総合／公共」の素点は，この中から２つ選択で 100 点とします。

注3：大学入学共通テストの理科の素点は，「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」から２つ選択で 100 点，「基礎を付さない科目」１科目選択で 100 点とします。

注4：大学入学共通テストの外国語において「英語」を選択した者で，リスニングの受験を免除された者については，リーディング（100 点満点）の素点を 200 点満点に換算して利用します。

注5：教育文化学部の大学入学共通テスト欄の※印は，このうちから必要科目を選択するものです。

注6：教育文化学部学校教育課程初等中等教育コースの個別学力検査等欄の＃印は，１科目等を選択するものです。実技検査は，音楽，美術のいずれか１つを選択します。

注7：教育文化学部地域文化学科の大学入学共通テスト欄の＃印はどちらかの１教科を指定するものですが，２教科とも受験した場合は，高得点の教科を合格判定に用います。

(4) 合格者の決定方法

学部等		合格者の決定方法
国際資源学部		1　大学入学共通テストと個別学力検査等の得点の総合点に基づいて合格者を決めます。 2　総合点が同点の場合は同順位として取り扱います。 3　欠員が生じた場合は，前期日程試験あるいは後期日程試験で補充します。
教育文化学部		1　大学入学共通テストと個別学力検査等を総合的に判断し合格者を決めます。ただし，大学入学共通テストの合格判定に用いる科目と個別学力検査等に無得点の科目がある場合は，合計点にかかわらず合格者としません。 なお，合計点が同点の場合は同順位として取り扱います。 2　次の課程・学科では，個別学力検査等のうちの指定科目の得点が基準点に満たない者は，合計点にかかわらず合格者としません。 課程・学科・コース等 ／ 指定科目（基準点：総点の４割） 学校教育課程・初等中等教育コース ／ 小論文（80 点），実技検査（80 点），面接（40 点） 学校教育課程・特別支援教育コース ／ 小論文（80 点），面接（40 点） 学校教育課程・こども発達コース ／ 小論文（80 点），面接（40 点） 地域文化学科 ／ 小論文（80 点），面接（80 点）
医学部	医学科	1　大学入学共通テストと個別学力検査等を総合的に判断し合格者を決めます。 2　面接における評価において，「不可」と判断された場合は，総合点にかかわらず合格者としません。 3　秋田県地域枠の選抜においては，僻地医療を含む地域医療に貢献する意欲等を勘案して総合的に判定します。 4　東北地域枠の選抜においては，地域医療に貢献する意欲等を勘案して総合的に判定します。

4　試験の日程

学部等			試験日	集合時刻	小論文	面接	実技検査および面接
国際資源学部	国際資源学科		令和９年１月22日（金）	8:30	—	9:00 ～ 17:00	—
教育文化学部	実技検査選択者		令和９年１月22日（金）	8:30	—	—	9:00 ～ 18:00
	上記以外の者			8:30	9:00 ～ 10:00	10:30 ～ 18:00	—
医学部	医学科	一般枠	令和９年１月21日（木）	8:30	9:00 ～ 11:00	11:30 ～ 18:00	—
		東北地域枠および秋田県地域枠	令和９年１月21日（木）	8:30	9:00 ～ 11:00	—	—
			令和９年１月22日（金）	8:30	—	9:00 ～ 18:00	—

注：面接の終了時刻は，受験者数により変わる場合があります。

5　試験場

学部	試験場
国際資源学部	秋田大学国際資源学部試験場（手形キャンパス：秋田市手形学園町１番１号）
教育文化学部	秋田大学教育文化学部試験場（手形キャンパス：秋田市手形学園町１番１号）
医学部	秋田大学医学部試験場（本道キャンパス：秋田市本道一丁目１の１）

6　受験上の注意事項

① 試験当日は，**「令和９年度秋田大学受験票」**および**「令和９年度大学入学共通テスト受験票」**を忘れずに必ず持参してください。なお，試験室棟に入る際には，両方の受験票を係員に提示してください。また，試験時間中は両方の受験票を机の上に置いてください。

② 試験当日は，受験者は８時 10 分から試験室棟へ入ることができます。

③ 試験開始時刻に遅刻した場合は，試験開始時刻後 10 分以内の遅刻に限り，受験を認めます。

④ 試験時間中の答案提出は認めません。

⑤ 小論文の試験室では，受験票，黒鉛筆，鉛筆キャップ，シャープペンシル，消しゴム，鉛筆削り（電動式・大型のもの・ナイフ類を除く。），定規，時計（辞書，電卓，端末等の機能があるものや，それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマー・大型のものを除く），目薬，眼鏡，ティッシュペーパー（袋または箱から中身だけを取り出したもの）以外のものは，机の上に置くことはできません。

⑥ 携帯電話，スマートフォン，ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等）等の電子機器類を持参した場合は，試験室棟に入る前に必ずアラームの設定を解除し電源を切っておいてください。試験時間中，かばん等にしまわずに，身につけていたり手に持っていた場合は，不正行為となることがあります。

⑦ 不正行為を行った場合は以後の受験は認められず，個別学力検査等の受験は失格となります。
不正行為に該当する行為は，令和９年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト受験案内に記された不正行為の内容に準じます。また，状況により警察へ被害届を提出する場合があります。

⑧ 試験場・試験室において，他の受験者の迷惑になる行為は行わないでください。

⑨ 試験場の下見は，試験前日の 13 時から 17 時までの間に行ってください。なお，下見は試験室棟入口までとし，試験室棟には入れません。

⑩ 試験前日および試験当日は，受験者および付添者の車両による入構を禁止します。なお，試験当日，試験場には，受験者および付添者の控室を設けています。

⑪ 受験者（特に遠隔地からの者）は，**荒天等による交通機関の乱れを考慮し**，前日までに秋田市内に到着する等ゆとりをもった日程を組むほか，衣類・履物等にも留意してください。

⑫ 本道キャンパス（医学部）は附属病院に隣接していることから感染対策のため，マスクの着用をお願いしております。受験者本人ならびに付添者の方もマスクの着用をお願いいたします。特別な事情等によりマスクを着用することができない場合は，事前に入試課（℡ 018-889-2256）へご連絡願います。また，手形地区（国際資源学部，教育文化学部）で受験する方で試験当日に体調の悪い方，家族や身近に感染症に罹患している人がいる方などは，感染対策としてマスクの着用を推奨いたします。

7　感染症に関する注意事項

学校保健安全法施行規則で出席停止が定められている感染症に罹患した場合は，他の受験者等への感染拡大防止の面から，学校保健安全法に準じた取り扱いとし，試験当日までに治癒していない方および出席停止期間を経過していない方は，感染症の種類により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められた場合を除き，原則として受験を認めません。

なお，感染の拡大等により，上記によらず急遽変更する場合は，本学ホームページ（https://www.akita-u.ac.jp/）にて連絡します。

8　出願手続

出願は，インターネットによる出願のみとします。出願手続は，インターネットによる出願登録，入学検定料の支払いを行った後，必要書類を印刷して出願期間内に郵送により提出することにより完了します。

２～５ページの「インターネット出願の流れ」をよく読んで手続きを行ってください。

インターネット出願サイトからの登録だけでは出願手続完了にはなりませんので注意してください。

(1) 出願期間

インターネット出願登録期間および 入学検定料支払期間	出願に必要な書類の提出期間
令和８年12月７日(月)10時から 令和８年12月15日(火)13時まで	**令和８年12月９日(水)から 令和８年12月15日(火)17時まで（必着）**

(2) 出願方法

出願に必要な書類の提出は，「速達簡易書留」による郵送とし，**12月15日(火)17時必着**とします。

ただし，**12月14日(月)以前の発信局の消印がある速達簡易書留郵便に限り，12月16日(水)17時までに到着した場合**は受付します。

送付先：〒010-8502　秋田市手形学園町１番１号　秋田大学入試課

(3) 事前準備

インターネット出願登録の前に，あらかじめ次のとおり確認および準備をしてください。

パソコン等の利用環境	PCでのインターネット出願は，次の環境で行ってください。 ＜ブラウザ＞ ・Microsoft Edge 最新版 ・Google Chrome 最新版 ・Mozilla Firefox 最新版 ・Apple Safari 最新版 ※　ブラウザのタブ機能を使用して，複数のタブで同時に申込操作を行うと，選択した内容が他のタブに引き継がれてしまう等の不具合が発生する場合があります。 複数タブでの同時申込操作は控えてください。 ※　前画面へ戻る場合はブラウザの「戻る」ボタンは利用せず，画面内に表示されている「戻る」ボタンを利用してください。 スマートフォン，タブレットでのインターネット出願では次の環境で行ってください。 ・iOS 12以上 ・Android OS ８以上 ・iPad OS 13以上 ※　各OSの標準ブラウザが推奨環境となります。お使いのブラウザで表示が崩れる場合は，他のブラウザで確認してください。 ※　Androidのスマートフォンからの操作でChromeのPC版からはPDFの表示ができない場合があります。その際はモバイル版を利用してください。
PDF表示・印刷ソフトウェア	入学志願票（PDF）の表示･印刷にはアドビシステムズ社が配布しているAdobe Reader（無償）が必要です。
メールアドレス	出願にはメールアドレスが必要となりますので，事前にメールアドレスをご用意ください。 「入学志願票」等をプリントアウトするため，パソコンで使用できるメールアドレスを推奨しています。 なお，ドメイン指定受信を設定されている方は，次のドメインからのメールを受信できるように設定を追加してください。 ＜@e-apply.jp＞ ＜@jimu.akita-u.ac.jp＞
プリンター	入学志願票（PDF）および受験票（PDF）を出力するため，Ａ４普通紙に印刷することができる**カラープリンター**が必要です。 印刷用紙（普通紙・PPC用紙・OA共通用紙・コピー用紙等）とともに用意してください。
角形２号封筒	出願書類の提出用のため，市販の角形２号封筒（240㎜×332㎜）を用意してください。
本人写真データ	出願手続きの際，アップロードしてください。出願前３ヶ月以内に撮影した，正面・上半身・無帽・背景なしのカラー写真で，容量は10MB以内のデータを準備してください。写真データは縦４，横３の比率が望ましいです。

(4) 出願書類等

〈全員が提出するもの〉

書類等	摘　　要
入学志願票	学校推薦型選抜Ⅱは「Web方式」で志願者の成績請求情報を取得します。以下のとおり共通テスト出願サイトと本学のインターネット出願サイトから出願登録を行ってください。 ①　共通テスト出願サイトのマイページ上にある「出願内容確認･訂正」から「申込番号」を確認してください。 ②　本学のインターネット出願サイトに志願者情報を入力し,顔写真データをアップロードして出願情報の登録を行ってください。共通テスト出願サイトの「申込番号」「カナ氏名」「ログイン ID・パスワード」の入力も必要です。 ③　検定料 17,000 円を支払ってください。支払方法は，クレジットカード，ネットバンキング，コンビニエンスストア，またはペイジー対応銀行 ATM のいずれかとなります。（振込手数料が別途必要です。） ④　入学志願票をインターネット出願サイトからＡ４サイズでカラー印刷してください。
	大学入学共通テストの受験を要する教科・科目については，学生募集要項 36 ページから 38 ページまでの志願する学部学科等の教科・科目および注意事項を**必ず確認**し，１科目でも不足する場合は，出願しないでください。出願後に判明した場合は，受験ができません。
調　査　書	文部科学省所定の様式により在学（出身）学校長が作成し，厳封したもの。 なお，本学では Ⓐ 標示を求めておりませんので Ⓐ 標示であっても「 Ａ 」として取り扱います。 また，調査書の記載について ①　調査書様式裏面「７．指導上参考となる諸事項」欄については，簡潔に記載してください。 ②「８．備考」欄については，記載を求めません。記載されている場合でも評価の対象としません。 ただし，「9. 出欠の記録」の欠席日数の中に病気・事故等による本人に帰責されない身体・健康上の理由による欠席が含まれる場合は，「8. 備考」欄に記載してください。 ※　令和元年度以前の卒業生については，従前の様式による提出でも構いません。
推　薦　書	本学所定の様式により在学（出身）学校長が作成し，厳封したもの（「推薦書記入上の注意」を確認のうえ，記入してください。）なお，様式は本学ホームページ（https://www.akita-u.ac.jp/）からダウンロードできます。
出願書類提出用 宛名シート	インターネット出願サイトからＡ４サイズでカラー印刷し（入学志願票印刷時に印刷できます。），各自で用意する市販の角形２号封筒（240 ㎜× 332 ㎜）に全面糊付けで貼付してください。

〈該当者が提出するもの〉

○教育文化学部学校教育課程初等中等教育コース実技検査（音楽）志願者全員が提出するもの

実技検査調書	本学所定の様式に，所要事項を記入してください。なお，様式は本学ホームページ（https://www.akita-u.ac.jp/）からダウンロードできます。

○医学部医学科志願者全員が提出するもの

志願理由書	本学所定の様式に，志願者本人が記入してください。なお，様式は本学ホームページ（https://www.akita-u.ac.jp/）からダウンロードできます。成果獲得に関わることを記入する場合は，努力のプロセス等について記入してください。成果獲得に関わらないことを記入する場合は，このかぎりではありません。 ※　応募枠（一般枠，東北地域枠，秋田県地域枠）の記載漏れにご注意ください。

○医学部医学科地域枠志願者全員が提出するもの

同　意　書	本学所定の様式に，志願者および保護者（または法定代理人）本人が自筆記名したものを提出してください。なお，様式は本学ホームページ（https://www.akita-u.ac.jp/）からダウンロードできます。 ※東北地域枠と秋田県地域枠で様式が異なります。

(5) 出願にあたっての留意事項

① 出願書類等に不備がある場合は，これを受理しません。
② 受理した出願書類等の返還および記載事項の変更は認めません。
③ 出願後，連絡先に変更があった場合は，書面により届け出てください。
④ **国公立大学の学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す場合，課さない場合を含めて）への出願は，一つの大学・学部に限られています。**したがって，本学の学校推薦型選抜に出願した場合は，他の国公立大学の学校推薦型選抜（大学共通テストを課す場合，課さない場合を含めて）へ出願することはできません。また，他の国公立大学の学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す場合，課さない場合を含めて）に不合格となった者が本学の学校推薦型選抜へ出願することはできません。
ただし，本学の教育文化学部学校教育課程初等中等教育コースの学校推薦型選抜Ⅰで不合格になった者は，同コースの学校推薦型選抜Ⅱに出願することができます。
⑤ 出願手続完了後，既納の検定料は，いかなる理由があっても返還しません。ただし，検定料の振込後に出願しなかった場合や二重払いについては返還しますので，原則として令和８年12月16日(水)から令和８年12月22日(火)までの間に，秋田大学経理・調達課出納担当（電話 018-889-2234）へ申し出てください。

(6) 受験票の印刷

受験票は，志願者が郵送した提出書類を確認して受理した後，インターネット出願サイトから印刷できるようになります。印刷可能となりましたら，出願手続時に登録した志願者のメールアドレスへ通知します。

受験票の印刷開始日　　令和９年１月５日（火）以降

９　合格者の発表

令和９年２月10日（水）15 時（予定）

合格者には合格通知書を，在学(出身)学校長には合否通知書を郵送します。また，秋田大学ホームページ(https://www.akita-u.ac.jp/)に合格者の受験番号を掲載します。

注）電話による問い合わせには一切応じません。

10　入学手続

入学手続期間	**令和９年２月16日（火）・17日（水）**
入学手続の方法	51 ページに記載のとおり

11　個人の成績等の開示

受験者の個人成績は，**合格者および不合格者本人に**次により開示します。

(1) 開示内容

① 国際資源学部
　得　点
　・大学入学共通テスト（本学が課した教科・科目の傾斜配点後の得点）
　・個別学力検査等（面接の得点）
　順位等
　・Ａ，Ｂ，Ｃ等のランク区分で開示
　※ただし，合格者（不合格者）が３名未満の場合を除く。
　調査書
　・「各教科・科目等の学習の記録」，「各教科の学習成績の状況」および「学習成績概評」欄

② 教育文化学部
　得　点
　・大学入学共通テスト（本学が課した教科・科目の傾斜配点後の得点）
　・個別学力検査等（実技検査，小論文，面接の得点）
　順位等
　・Ａ，Ｂ，Ｃ等のランク区分で開示
　※ただし，合格者（不合格者）が３名未満の場合を除く。
　調査書
　・「各教科・科目等の学習の記録」，「各教科の学習成績の状況」および「学習成績概評」欄

③ 医学部医学科
　得　点
　・大学入学共通テスト（本学が課した教科・科目の傾斜配点後の得点）
　・個別学力検査等（小論文は得点，面接はＡ，Ｂ，Ｃ等の段階評価）
　順位等
　・Ａ，Ｂ，Ｃ等のランク区分で開示
　調査書
　・「各教科・科目等の学習の記録」，「各教科の学習成績の状況」および「学習成績概評」欄

(2) 申込期間

令和９年５月１日（土）～令和９年６月30日（水）

(3) 申 込 者

受験者本人に限ります（**代理人は不可**）。

(4) 申込方法

郵送で受け付けます。注意事項をよく読み，次の書類等により申し込んでください。

- **本学の受験票**
- 入試成績開示申込書
- 返信用の封筒

注意事項

- 申込みの際，**本学の受験票**が必要となります。開示を希望する場合は申込期間前に誤って廃棄しないよう注意してください。
- 入試成績開示申込書は必ず受験者本人が記入してください。代理人による申し込みはできません。
- 入試成績開示申込書は本学ホームページ（https://www.akita-u.ac.jp/）「入試情報→成績開示」からダウンロードしてください。
- 返信用封筒は長形３号に限るものとし，おもて面に受験者の郵便番号・住所・氏名を明記し，460 円分の切手を貼ってください。

申込窓口　　秋田大学入試課
〒 010-8502　秋田市手形学園町１番１号　　電話 018-889-2256

(5) 開示方法

申込みが受理されてから１ヵ月以内に，受験者本人あてに簡易書留郵便で送付します。

共　通　事　項

（学校推薦型選抜Ⅰ・Ⅱ）

１　国際資源学部の入学志願者へ

国際資源学部では，３年次に全員が４週間程度の海外実習「海外資源フィールドワーク」（必修）を行います。
実習にかかる経費については，一部は大学が負担し，無理のない渡航計画を立てられるようサポートします。詳細については，入学後のオリエンテーションにおいて説明します。

２　教育文化学部の入学志願者へ

(1)　学校教育課程初等中等教育コース（学校推薦型選抜Ⅱ）
学校教育課程初等中等教育コースでは，個別学力検査等で小論文か，実技検査（音楽または美術）を選択して受験することになりますが，合格予定者数は，受験する科目ごとにおおむね次のとおりとします。

小論文で受験する者　16人
音楽で受験する者　２人
美術で受験する者　２人

(2)　学校教育課程初等中等教育コースは以下の３プログラムで構成されており，このコースに入学した者は，入学後の適切な時期に配属するプログラムおよび専門領域（教科等）を決定します。この決定は，入学試験の際に選択した科目にかかわらず，原則として本人の希望および入学後の学習状況に基づいて行います。

初等中等教育コースのプログラム
教育実践プログラム，英語教育プログラム，理数教育プログラム

初等中等教育コースの専門領域（教科等）
国語，社会，数学，理科，音楽，美術，保健体育，家庭，英語

(3)　地域文化学科に入学した者は，入学後の適切な時期にコースを決定します。この決定は，入学試験の際に受験した科目にかかわらず，原則として本人の希望および入学後の状況等に基づいて行います。

地域文化学科のコース
地域社会コース，国際文化コース，心理実践コース

３　総合環境理工学部の入学志願者へ

応用化学生物学科に入学した者は，コースへの配属を２年次後期に決定します。この決定は，入学試験の科目および成績等にかかわらず，原則として本人の希望および入学後の学業成績等に基づいて行います。

４　教員免許・医療系資格等の取得を目指す入学志願者のみなさんへ

心と身体を守るため 2026 年 12 月 25 日から「こども性暴力防止法」が施行されます。これに伴い，教育実習や医学・保健学系の臨床実習等を行う学生についても，法律施行後は実習を行う前に，法に基づく性犯罪に関する確認が行われる可能性があります。この手続きを通じて特定性犯罪前科が確認された場合は児童等に接する実習を行うことができず，各種資格の取得要件を満たすことができなくなる場合があります。詳細はこども家庭庁のサイトをご確認ください。

○こども家庭庁ＨＰ「こども性暴力防止法（学校設置者等及び民間教育保育等事業者による児童対象性暴力等の防止等のための措置に関する法律）」
リンク：https://www.cfa.go.jp/policies/child-safety/efforts/koseibouhou

５　配慮を必要とする入学志願者の事前相談について

病気・負傷，身体障害および発達障害等の心身の機能の障害（以下，「障害等」という。）により，受験上および修学上の配慮を必要とする可能性のある入学志願者は，出願に先立ち，47 ページの様式に必要事項を記入のうえ，医師の診断書等を添えて，下記の期限までに本学入試課に相談してください。日常生活においてごく普通に使用している補聴器，松葉杖，車椅子等を使用して受験する場合や期限後に不慮の事故等により，受験上の配慮が必要となった場合には，速やかに相談してください。
また，障害等の程度によっては，事前の準備が必要となる場合がありますので，本学への出願を迷っている場合でもあらかじめ相談いただき，進路決定等により特別措置が不要となった場合には，その旨入試課までお知らせください。
なお，事前相談の内容等が合否判定のための資料になることはありません。

○事前相談の期限

試　験　区　分	事前相談の期限
学校推薦型選抜Ⅰ	令和８年10月14日（水）
学校推薦型選抜Ⅱ	令和８年11月25日（水）

○相談先

秋田大学入試課
〒010-8502　秋田市手形学園町１番１号
電話　018-889-2256

○様式（Ａ４判）

受験上および修学上の配慮を必要とする入学志願者の事前相談書

令和　　年　　月　　日

試験区分	学校推薦型選抜Ⅰ，学校推薦型選抜Ⅱ，　※どちらかを○で囲んでください。	
志望学部等	学部　　学科 課程　　専攻 コース	
氏名 （年齢）	（　　歳）	
連絡先	〒　　－ 電話　　－　　－	
障害等の種類・程度 ※　医師の診断書等障害の状況がわかるものを必ず添付してください。		
受験上希望する配慮の内容		
修学上希望する配慮の内容 ※入学が確定した後，学生サポートルームから相談内容について連絡する場合があります。		
出身学校等で取られていた特別措置		
大学入学共通テスト受験時の特別措置		
日常生活の状況		
出身学校等	学校名等	
	所在地および電話番号	〒　　－ 電話　　－　　－

○様式ダウンロード先

秋田大学ホームページ（https://www.akita-u.ac.jp/）**「入試情報→特別措置」で確認してください。**

６　検定料免除について

災害救助法が適用される自然災害により被災された方々の経済的負担を軽減し，受験生の進学機会の確保を図るために，検定料免除の特別措置を講じます。

検定料の免除を希望される方は，**出願前に必ず入試課までご連絡ください。**

＊　秋田大学入試課　電話　018-889-2256

(1)　対象者

当該年度において，自然災害により災害救助法の適用を受けた地域において被災し，次のいずれかに該当する方

①　学資負担者が所有する自宅家屋の全壊，大規模半壊，半壊，流失の被害を受けた方

②　学資負担者が災害により死亡または行方不明の方

(2)　申請の方法

事前に本学入試課に連絡し，該当すると判断された方は，所定の申請書類を**(4)**の申請期限までに提出してください。提出の際には，封筒の表に「検定料免除申請書在中」と朱書きし，返信用封筒（長形３号，110 円切手貼付，住所・氏名記入）を同封してください。

なお，この申請を行う場合は，出願時に「検定料」を払い込まないでください。

(3)　申請書類及び証明書

①　申請書類

・「検定料免除申請書」（別紙様式）（本学ホームページ（https://www.akita-u.ac.jp/）「入試情報→検定料免除」からダウンロードできます。）

②　証明書

・「り災証明書」（上記（1）の①に該当する方）

・「死亡または行方不明を証明する書類」（上記（1）の②に該当する方）

(4)　申請期限	**学校推薦型選抜Ⅰ**	**令和８年10月14日（水）**
	学校推薦型選抜Ⅱ	**令和８年11月26日（木）**

(5)　許可または不許可の通知

①　許可された方には，出願受付期間前までに「検定料免除決定通知書」を送付します。インターネット出願にあたっては必要事項の登録完了後，検定料を納付せず秋田大学入試課（電話 018－889－2256）へ連絡してください。（平日 8:30 ～ 17:00）

②　不許可の方には，出願受付期間前までに別途通知いたします。願書の提出に当たっては，検定料を納付の上必要な手続をしてください。

検定料の納付がない方の当該入学者選抜試験に係る出願は受理しません。

(6)　その他

諸事情により，申請期限までに申請書類および証明書が提出できない場合は，一旦検定料を納付した上で，願書を提出してください。

7　入学料免除・授業料免除および入学料徴収猶予について

(1) 入学料免除・授業料免除

① 対象者

入学料・授業料免除は文部科学省の高等教育の修学支援新制度に基づいて行われ，日本学生支援機構の給付型奨学金（多子世帯含む）に採用された方が対象となります。

※　高等教育の修学支援新制度は給付型奨学金の支給や，授業料・入学料の減免措置が行われる制度です。詳細については文部科学省 HP および日本学生支援機構 HP を参照してください。

【文部科学省 HP】
https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/hutankeigen/index.htm
【日本学生支援機構 HP】
https://www.jasso.go.jp/shogakukin/kyufu/index.html

② 入学料・授業料の免除額について

採用された区分に応じて入学料・授業料の全額，３分の２，または３分の１が免除されます。

③ 申請書類の提出について

入学手続きの提出書類に「入学料・授業料等減免申請書」を併せて提出してください。また，日本学生支援機構の給付奨学金に採用されている場合は，「採用候補者決定通知」の写しを同封してください。
「入学料・授業料等減免申請書」は下記 URL よりダウンロードして使用してください。

【秋田大学 HP】ホーム＞学生生活＞学費・生活費・奨学金制度
https://www.akita-u.ac.jp/honbu/life/li_lifesupport.html

※　入学料・授業料免除を受けるには，日本学生支援機構の給付型奨学金に採用される必要があります。
予約採用をしていない場合は，入学後に在学採用の申請がありますので，必ず申請してください。

(2) 入学料徴収猶予

入学料徴収猶予が許可された場合，入学料の支払いが入学年度の大学指定の期日まで猶予されます。

① 対象者

ア）経済的理由により期限までに入学料の納付が困難であり，かつ学業優秀と認められる者
イ）入学前１年以内に，学資負担者の死亡又は本人若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けたことにより，期限までに入学料の納付が著しく困難である者

② 提出書類について

上記の日本学生支援機構の高等教育の修学支援新制度に伴う「入学料・授業料等減免申請書」を提出の方は，同機構の採用判定（７～８月頃）まで徴収が猶予されますので，入学料徴収猶予希望届は不要です。なお，高等教育の修学支援新制度の対象ではなく猶予を希望する方は，入学手続きの提出書類に「入学料徴収猶予希望届」を併せて提出する必要があります。詳細は入学手続関係書類でお知らせします。

【秋田大学 HP】ホーム＞学生生活＞学費・生活費・奨学金制度
https://www.akita-u.ac.jp/honbu/life/li_lifesupport.html

※　<u>入学後に別途申請書を提出していただく必要</u>があります。

※　入学料免除・授業料免除および入学料徴収猶予に関する問い合わせ先
秋田大学学生支援・就職課 入学料・授業料免除担当 電話 018-889-2265・2263

８　学生寮について

【入寮案内請求および申し込みについて】

入寮案内の請求期間，申し込み期間等に関する詳細は毎年１月上旬頃に大学ホームページ(https://www.akita-u.ac.jp/) でお知らせします。
入寮案内請求および申請については，入学試験の合否の発表に関わらず 上記ホームページにある請求期間および申し込み期間になりますので，ホームページで必ずご確認ください。
なお，入寮案内の請求期間および申し込み期間を過ぎてからの受付は，一切いたしませんのでご了承ください。

大学トップページの新着一覧および 受験生の方へ → NEWS&TOPICS に掲載します。

本学には次の学生寮があります。
なお，選考は**経済的困窮度の高い世帯（生活保護受給世帯，住民税非課税世帯）から優先し**，通学状況，家族数を含めた家庭状況により行います。

名　称	定　員	居室形態	居室面積	寄宿料(月額)	入寮対象者	所　在　地
西谷地寮（にしやちりょう）	130 名	個　室	約 18 ㎡ (約 10.8 畳)	20,000 円	男子学生 (留学生含む)	秋田市手形字西谷地５－１
手形寮（てがたりょう）	40 名	個　室	約 9 ㎡ (約 5.5 畳)	5,300 円	女子学生 (留学生除く)	秋田市手形田中５－50
本道寮（ほんどうりょう）	31 名	個　室	約 16 ㎡ (約 9.7 畳)	6,900 円		秋田市柳田字糠塚 100－３

＊寄宿料の他，私生活のために使用する光熱水料，インターネット回線およびＮＨＫ受信料等は，自己負担になります。
その月額は，10,000 円程度です。
＊入学時，在学中に寄宿料が改訂された場合は，改定時から新寄宿料が適用になります。

【募集人数】
男子寮（西谷地寮）　　30 名程度（留学生含む）
女子寮（手形寮・本道寮）　20 名程度（留学生除く）

＊学生寮に関する問い合わせ先
秋田大学学生支援・就職課　学生寮担当　電話 018-889-2240

９　入学手続について

学校推薦型選抜の合格者は，次により入学手続を行ってください。

(1)　入学手続期間

学校推薦型選抜Ⅰ：令和８年12月10日（木）・11日（金）（必着）
学校推薦型選抜Ⅱ：令和９年２月16日（火）・17日（水）（必着）

(2)　入学手続方法

所定の納付金を納付するとともに，入学手続関係書類を**「速達簡易書留」**により送付してください。期間最終日必着ですので，郵送期間を十分考慮してください。入学手続期間前に届いた書類は，期間中に受付を行います。

なお，入学手続には大学入試センターが発行する「国立大学入学確認票」が必要になります。詳細については，合格者に送付する入学手続案内でお知らせします。

※　特別な事情により持参する場合は，入学手続期間内の９時から 16 時まで秋田大学入試課窓口で受付します。

(3)　納付金

①　入学料　282,000 円（予定額）
②　授業料　前期分　267,900 円（年額　535,800 円）（予定額）

注 1）上記納付金は予定額であり，入学前に入学料が改定された場合には，改定時から入学希望者全員に新入学料が適用されます。また，入学時または在学中に授業料が改定された場合には，改定時から新授業料が適用されます。

2）入学料及び入学年度前期授業料は，支払サイトを利用してお手続き・ご納付いただきます。
お支払い方法は，クレジットカード，Pay-easy（ネットバンキング，ＡＴＭ）です。
現金による納付はできませんのでご留意ください。詳細は入学手続案内をご確認ください。

3）入学手続時に授業料（前期分）を納付できないときは，令和９年４月１日（木）から４月30日（金）までの間に納付してください。

4）入学手続完了後は，納付した入学料は，原則として返還しません。

5）経済的理由等により期限までに入学料の納付が困難である者を対象に入学料を徴収猶予する制度があります。詳細については 49 ページを参照してください。

(4)　提出書類等

貼付台紙，**国立大学入学確認票**（学校推薦型選抜Ⅱの合格者のみ），宣誓書等です。
詳細については，合格者に送付する入学手続案内でお知らせします。

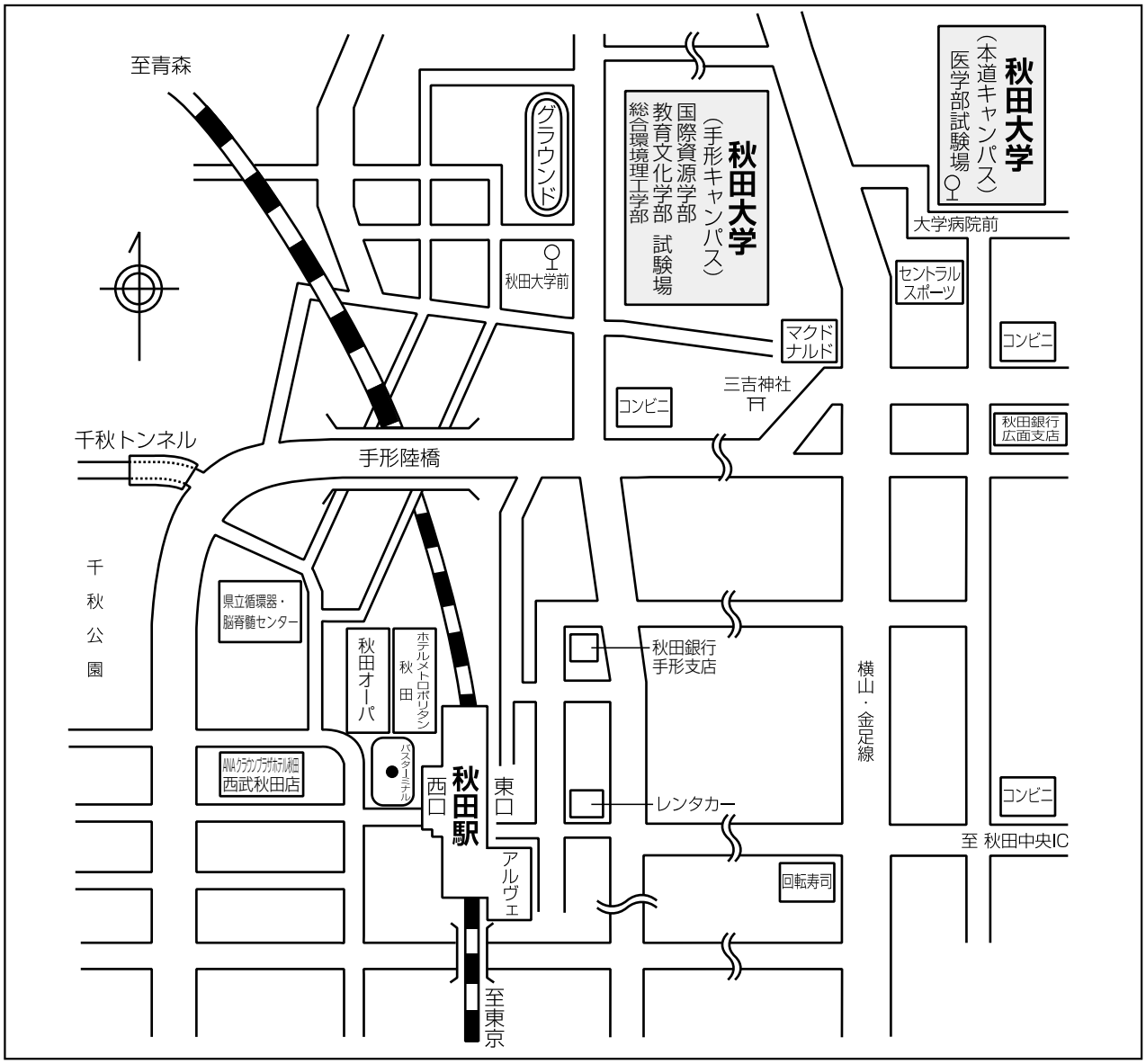
(5)　留意事項

①　学校推薦型選抜の合格者は，学校推薦型選抜の趣旨から，原則として入学辞退を認めません。
ただし，特別の事情があり，当該合格者の推薦を行った在学（出身）学校長から入学手続期間最終日までに「学校推薦型選抜辞退願」が提出され，本学学長が許可した場合に限り，入学辞退が認められます。

②　学校推薦型選抜合格者が入学手続を完了したときは，本学または他の国公立大学の個別学力検査等を受験しても，入学許可を得ることはできません。

③　学校推薦型選抜の合格者が，入学手続期間最終日までに入学手続を完了しないときは，学校推薦型選抜合格者としての権利を失います。さらに，本学または他の国公立大学の個別学力検査等を受験しても，入学許可を得ることはできませんので，入学または入学辞退のいずれの手続も行わないままとすることのないよう注意してください。

10　試験場の案内



国際資源学部
教育文化学部　試験場(手形キャンパス)の交通案内
総合環境理工学部

●秋田駅西口バスのりば 12番から
　秋田中央交通バス　手形山大学病院線

　秋田大学前下車　徒歩約1分

●秋田駅東口から秋田大学手形キャンパスまで
　徒歩約15分（約 1.3km）

医　学　部　試験場(本道キャンパス)の交通案内

●秋田駅西口バスのりば 12番から
　秋田中央交通バス　手形山大学病院線
●秋田駅西口バスのりば 11番から
　秋田中央交通バス　太平線，松崎団地線，
　赤沼線
●秋田駅東口バスのりば 2番から
　秋田中央交通バス　赤沼線

各線とも大学病院前下車　徒歩約5分

お 問 い 合 わ せ 先

■ 入学試験に関すること　※問い合わせの際は，必ず志願者本人が行ってください。

入　試　課　　TEL：018－889－2256

■ 入学料免除・徴収猶予および授業料免除に関すること

学生支援・就職課　　TEL：018－889－2265・2263

■ 奨学金に関すること

学生支援・就職課　　TEL：018－889－2263

■ 学生寮に関すること

学生支援・就職課　　TEL：018－889－2240

■ 検定料・入学料・授業料納入に関すること

経理・調達課　出納担当　　TEL：018－889－2234

※　お問い合わせは，下記時間内に行ってください。

月曜日　～　金曜日　　8:30　～　17:00

（ただし，祝日，12月29日～1月3日は除く）

秋田大学入試課
〒010-8502 秋田市手形学園町１番１号
TEL:018-889-2256 FAX:018-835-9924
URL https://www.akita-u.ac.jp/